

<p>(MDF及びパーティクルボードの場合) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ () (合板の場合) ホルムアルデヒド放散量 ※下記①～④を満たす材料を使用する。 ①F☆☆☆☆ ②非ホルムアルデヒド系接着剤使用(普通合板、天然木化粧合板) ③非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用(天然木化粧合板に限る。) ④非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用(特殊加工化粧合板に限る。) () (接着剤の場合) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ () (遮音材)・適用する(グラスウール32kg厚50mm) ◎適用しない</p>	<p>(6.16.3) 張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル(材料:) 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄) ・() (表6.16.4) タイル張りの工法 ・密着張り ・改良圧着張り ・マスク張り ・モザイクタイル張り (6.16.4) ・接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの形状、寸法等() 施工箇所() 形状、寸法() 吸水率による区分 ・1類 ・2類 ・3類 うわぐすり ・施ゆう ・無すう 役物 ・有 ・無 色 ・標準 ・特注 再生材の適用 ・有 ・無 耐凍害性 ・有 ・無 耐滑り性 ・有 ・無 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない 内装壁タイル接着材張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()</p>	<p>(6.16.3) 張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル(材料:) 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄) ・() (表6.16.4) タイル張りの工法 ・密着張り ・改良圧着張り ・マスク張り ・モザイクタイル張り (6.16.4) ・接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの形状、寸法等() 施工箇所() 形状、寸法() 吸水率による区分 ・1類 ・2類 ・3類 うわぐすり ・施ゆう ・無すう 役物 ・有 ・無 色 ・標準 ・特注 再生材の適用 ・有 ・無 耐凍害性 ・有 ・無 耐滑り性 ・有 ・無 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない 内装壁タイル接着材張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()</p>	<p>4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (表7.4.1) (表7.4.2) (表7.4.3) (表7.4.4) (表7.4.5) (表7.4.6)</p>	<p>鉄鋼面 下地面等 工程 塗料 SOP塗り 新規 見え掛り ※A種 ・ B種 ・ C種 見え隠れ ※B種 ・ A種 ・ C種 塗替 見え掛り ※C種 ・ A種 ・ B種 見え隠れ ※C種 ・ A種 ・ B種 DP塗り 新規 ー ※A種 ・ B種 ・ C種 塗替 RA種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 RB種 ※Ds種 (1回目) RC種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※Es種 EP-G塗り 新規 見え掛り ※A種 ・ B種 ・ C種 見え隠れ ※B種 ・ A種 ・ C種 塗替 見え掛り ※C種 ・ A種 ・ B種 見え隠れ ※C種 ・ A種 ・ B種 錆止め 新規 見え掛り ※A種 ・ B種 ・ C種 見え隠れ ※B種 ・ A種 ・ C種 塗替 見え掛り ※C種 ・ A種 ・ B種 見え隠れ ※C種 ・ A種 ・ B種</p>	<p>(7.9.2) (表7.9.1) (7.9.3) (表7.9.2) (7.9.4) (表7.9.3) (7.9.5) (表7.9.4) (7.10.2) (表7.10.1) (7.11.2) (表7.11.1) (7.13.2) (表7.13.1)</p>	<p>○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) 塗装面の種類 工程の種別 塗替え 新規 ◎コンクリート面等 ※B種 ・ A種 ・ () ◎B種 ◎屋内木部 ※B種 ※A種 ・ () ・ () ・鉄鋼面 ※B種 ・ A種 ・ () ・ B種 ・亜鉛めっき鋼面 ※A種 A種 ・ () しみ止めの適用(塗替えの場合) ◎有 ・ 無 ・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) 塗装面の種類 工程の種別 塗替え 新規 ・コンクリート面等 ※B種 ・ A種 ・ () ・ B種 しみ止めの適用(塗替えの場合) ・有 ・ 無 ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) 塗装面の種類 工程の種別 塗替え 新規 木部 ※B種 ※B種 ・ () ・ () 着色 ・有 ・無 ・木材保護塗料塗り (WP) 塗装面の種類 工程の種別 塗替え 新規 木部 ※B種 ※B種 ・ A種 ・ A種</p>
<p>(6.13.3) 天井ボードの重ね張り ・行う ◎行わない (表6.13.3) ボード類、合板等の張付け工法 合板類の張付け種別 ※B種 ・ A種 (6.13.3) セッコウボードの目地工法 (表6.13.5) ・継目処理工法 ◎突付け工法 ・目透し工法 セッコウボードのエッジの種類 ◎ペベルエッジ ・スクエアエッジ</p>	<p>14 セルフレベリング材塗り (6.17.3) セルフレベリング材の標準塗厚 () mm</p>	<p>14 セルフレベリング材塗り (6.17.3) セルフレベリング材の標準塗厚 () mm</p>	<p>5 塗装 (7.5.2) (表7.5.1) (7.5.3) (表7.5.2) (7.5.4) (表7.5.3) (7.6.2) (表7.6.1)</p>	<p>亜鉛めっき鋼面 下地面等 工程 塗料 SOP塗り 新規 鋼製建具等 ※A種 ・ B種 ・ C種 鋼製建具以外 ・ A種 ※B種 ・ C種 塗替 ー ・ A種 ・ B種 ※C種 ※Bz種 ・ Az種 DP塗り 新規 鋼製建具等 B種 鋼製建具以外 A種 Bz種 塗替 ー ※表7.4.6による EP-G塗り 新規 鋼製建具等 ※A種 ・ B種 ・ C種 鋼製建具以外 ・ A種 ※B種 ・ C種 塗替 ー ・ A種 ・ B種 ※C種 Cz種</p>	<p>(7.11.2) (表7.11.1) (7.13.2) (表7.13.1)</p>	<p>・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) 塗装面の種類 工程の種別 塗替え 新規 木部 ※B種 ※B種 ・ () ・ () 着色 ・有 ・無 ・木材保護塗料塗り (WP) 塗装面の種類 工程の種別 塗替え 新規 木部 ※B種 ※B種 ・ A種 ・ A種</p>
<p>(6.14.3) (表6.14.1) (表6.14.2) (表6.14.3) ⑫モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.4) (6.15.6) 13 タイル張り (6.16.2) (6.16.3) (6.16.3) (6.16.3)</p>	<p>モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ※B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらえ ※B種 ・ A種 セッコウボード・けい酸がけ板面の素地ごしらえ ※B種 ・ A種 モルタル ・現場調合モルタル ◎既調合モルタル(材料: C-1) 既製目地材 ・設ける 形状、寸法(※図示 ・) ◎設けない 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・ () 床目地 目地割 ※2m程度 ・ () 最大目地間隔 ※3m程度 ・ () 目地の種類 ※押し目地 ・ () 伸縮調整目地の位置 ・床タイル ※縦、横とも4m以内ごと ・ () ・床タイル以外 ・図示 ・ () 見本焼き ・行う ・行わない 試験張り ・行う ・行わない 伸縮調整目地のシーリング材の目地寸法及び種類 施工箇所 目地寸法 シーリング材の種類 ・ () ・ () ・ ()</p>	<p>7 塗装改修工事 ① 材料 (7.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (JIS等の材料規格において放散量が規定されている場合) ※F☆☆☆☆ () 防火材料の指定 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・図示による ② 下地調整 (7.2.1) 下地調整の種類 (7.2.2) (表7.2.1) 下地面の種類 下地調整の種類 施工箇所 ◎木部 ・ RA種 ◎RB種 ・ RC種 ◎ (図示) (7.2.3) (表7.2.2) ・木部(不透明塗料塗り) ・ RA種 ※RB種 ・ RC種 ・ () (7.2.4) (表7.2.3) ・鉄鋼面 ・ RA種 ※RB種 ・ RC種 ・ () ・亜鉛めっき鋼面 ・ RA種 ※RB種 ・ RC種 ・ () (7.2.5) (表7.2.4) ◎モルタル、プラスター面 ・ RA種 ※RB種 ・ RC種 ◎ (図示) (7.2.6) (表7.2.5) ・コンクリート面(DP以外) ・ RA種 ※RB種 ・ RC種 ・ () (表7.2.6) ALCパネル面 (7.2.7) (表7.2.7) ・コンクリート面(DP)、 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ () 押出成形セメント板面 (7.2.7) (表7.2.7) ・セッコウボード面及び ・ RA種 ※RB種 ・ RC種 ・ () その他ボード面 (7.2.1) 既存塗膜の除去範囲(【表7.2.1】～【表7.2.7】までのRB種の場合) ※劣化部分は除去、活膜部分は残す ・図示 ・ () モルタル面及びコンクリート面のEP-G塗りにおける下地調整は次のとおりとする 工程 1 既存塗膜除去RB種 2 汚れ、付着物除去 3 下地調整材C-1塗り(全面) 4 研磨紙すり 内部塗装下地調整材C-1については、エスケー化研(株)のミラクファンドKC-1000同等品とする</p>	<p>(7.7.2) (表7.7.1) (7.8.2) (表7.8.1) (7.8.3) (表7.8.2) (7.8.4) (表7.8.3)</p>	<p>・クリヤラッカー塗り (CL) 塗装面の種類 工程の種別 塗替え 新規 木部 ※B種 ※B種 ・ A種 ・ A種 工程2の適用(A種の場合) ・適用する ・適用しない 塗料の種類(A種の場合) () ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) 塗装面の種類 工程の種別 塗替え 新規 コンクリート面 ※B種 ※B種 モルタル面 ・ A種 ・ A種 ・耐候性塗料塗り (DP) 塗装面の種類 工程の種別 上塗り塗料の等級 塗替え 新規 ・鉄鋼面 表7.8.1による ・ () ・亜鉛めっき面 表7.8.1による ・ () ・コンクリート及び押出成形セメント板面 ・ () ・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種</p>	<p>8-1 耐震改修工事 コンクリート工事 (8.1.3) (表8.1.1) (8.1.4) (表8.1.1) (表8.1.2) (8.2.5) (表8.2.4) (8.1.4) (表8.1.4) (表8.1.5)</p>	<p>別図に構造特記仕様書類がある場合、下記の内容は構造特記仕様書類を補充するものとする。 1 種類 (8.1.3) (表8.1.1) 適用箇所() コンクリートの種類 ※I類 ・ II類 ・建築基準法第37条第二号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリートの適用() コンクリートの気乾単位容積質量による種類 ※普通コンクリート ・軽量コンクリート 2 品質 (8.1.4) (表8.1.1) (表8.1.2) (8.2.5) (表8.2.4) (8.1.4) (表8.1.4) (表8.1.5) 適用箇所 設計基準 構造体強度 補正値(S)の値 スランプ(cm) ・ () ・ () ※ (表8.2.4)による ・ 15 ・ () ・ () ※ (表8.2.4)による ・ 18 ・ () ・ () ※ (表8.2.4)による ・ 15 ・ () ・ () ※ (表8.2.4)による ・ 18 コンクリート表面の仕上り状態 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種別 適用箇所 ・ A種 ・ () ・ B種 ・ () ・ C種 ・ () ・コンクリートの仕上りの平たんさ 種別 適用箇所 ・ a種 ・ () ・ b種 ・ () ・ c種 ・ () ・ ()</p>
<p>概要</p>	<p>設計年月日 R8.03 変更年月日 検印 設計 製図</p>	<p>有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344</p>	<p>〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富志正第五ビル201 1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号 1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸</p>	<p>工事名称 市立上溝中学校給食配膳室修繕 図面名称 改修特記仕様書(9) 縮尺 A1:N.S. A3:N.S.</p>	<p>図面番号 改特-O9</p>	<p>図面番号 改特-O9</p>

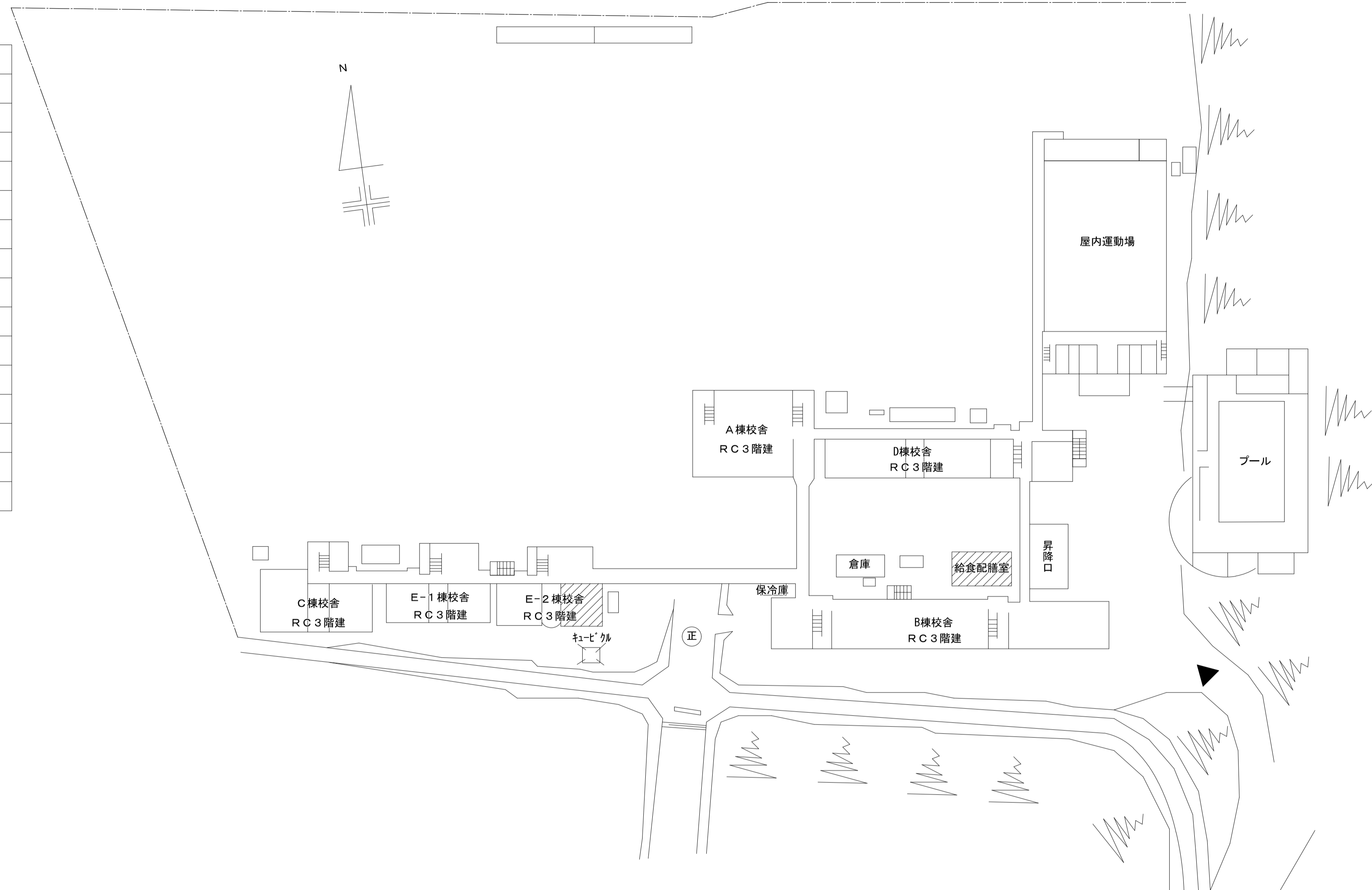
8-1 耐震改修工事 コンクリート工事	3 材料 (8.2.5) (表8.2.3)	セメントの種類 ・ () ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (高炉セメントB種の場合)適用場所 () (フライアッシュセメントB種の場合)適用場所 ()	5 その他のコンクリート (8.9.1) (8.9.2) (8.10.2) (8.11.1)	・軽量コンクリート 適用箇所 () 軽量コンクリートの種類及び品質 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・ () スランプ ※21cm ・ ()	鉄筋の定着 定着長さ ※【表8.3.4】による ・ () 仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さしが、【表8.3.4】のフックありの定着の長さが確保できない場合の定着の方法 ※【図8.3.3】により【8.3.3(5)(f)(a)~(c)】をすべて満足するもの ・ () 帯筋 組立の形 ・図示 () 継手 ・図示 ・ () 定着 ・図示 ・ () 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 ※【表8.3.6】による ・ () 壁の配筋及び開口部の補強 ・図示 ・ ()	8-3 耐震改修工事 鉄骨工事	2 材料 (8.2.8) (表8.2.7)	・鋼材	種類	形状	寸法	
		骨材の種類 フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材の使用 ・有 ・無 普通エコセメントを使用するコンクリートへの再生骨材Hの使用 ・有 ・無 使用骨材のアルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B		・中コンクリート 適用箇所 () 構造体強度補正值 (S) ※(表8.10.1)による ・ () スランプ ※21cm ・ ()				・機械式継手 適用箇所 () 性能 ・図示 ・ () 種類 ・図示 ・ () 鉄筋相互のあき ・図示 ・ () 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験項目及び合否判定 ※(表8.4.1)~(表8.4.3)による ・試験項目 () 合否判定 () 不合格となった場合の措置 ※8.4.2(5)(7)(a)~(c)による ・ () ・超音波測定試験 試験対象 () 不合格となった場合の措置 () 柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所にする(先組み工法等の場合) ・有 (・図示 ・ ()) ・無	・高力ボルト 種類 ・トルシア高力ボルト ・JIS高力ボルト 2種 (F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト 1種 (F8T) 相当 ・ () ねじの呼び寸法 ()	・溶接材料 【8.2.10(1)(2)】以外の溶接材料 ・ ()		
		混和剤の種類 混和剤の種類 ※JIS A 6204による (・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤) 化学混和剤の塩化物イオン (Cl ⁻) 量による区分 I種 ・種類 () 化学混和剤の塩化物イオン (Cl ⁻) 量による区分 () 種		・無筋コンクリート 適用箇所 () コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ () 設計基準強度 (F _c) ※18N/mm ² ・ () スランプ ・18cm ・15cm ・ () ・JIS A 5308に適合しないコンクリートの適用 ・有 ・無				・ガス圧接の圧接完了後の圧接部の試験 超音波探傷試験 ・行う ・行わない	・スタッドの種類 ()			
		混和材の種類 混和材の種類 ※JIS A 6201によるフライアッシュ I種 ・JIS A 6201によるフライアッシュ II種 ・JIS A 6201によるフライアッシュ IV種 ・JIS A 6206による高炉スラグ微粉末 ・JIS A 6207によるシリカフューム ・JIS A 6202による膨張材 ・ ()		・鉄筋 鉄筋の規格 ・JIS G 3112 ・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたせん断補強筋 鉄筋の種類(記号 (JIS G 3112の場合)) ・SD295 呼び径 (※D16以下) ・ () 適用箇所 () ・SD345 呼び径 (※D19以上) ・ () 適用箇所 () ・種類の記号 () 呼び径 () 適用箇所 ()				・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ ()	・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ ()			
混和剤の使用 【8.2.5(5)(f)①~③】以外の混和剤及び使用量 ※使用方法及び使用量のわかる資料の提出し、監督職員の承諾を受ける ・ ()	・溶接金網 適用箇所 () 鉄線の形状 () 網目寸法 () 鉄線の径 ()	・超音波測定試験 試験対象 () 不合格となった場合の措置 () 柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所にする(先組み工法等の場合) ・有 (・図示 ・ ()) ・無	・鉄骨工作 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示 ・ ()									
(8.2.6)	構造体用モルタルの材料及び割合 モルタルの圧縮強度及びフロー値 ・ ()	・あと施工アンカー 適用箇所 () 種類 ・金属系アンカー ・接着系アンカー 性能確認試験の適用 ・有 ・無	ボルトの孔径 (母屋又は胴縁の取付けに使用する普通ボルト) ※ねじの呼び径+1.0mm ・ ()									
(8.2.7)	型枠の材料 せき板の材料 ・コンクリート打放し仕上の場合 ※表8.1.4の表面の仕上り (・A種 ・B種 ・C種) ・ () ・コンクリート打放し仕上以外の場合 ※8.2.7(2)(f)又はその他の材料で所要の品質を確保できるもの () ・せき板の材料として合板を用いる場合 ・JAS 0233 (合板) による表面加工コンクリート型枠用合板 ・JAS 0233 (合板) による(7)以外のコンクリート型枠用合板で板面の品質B-C ・ () 厚さ ※12mm ・ ()	金系アンカーの仕様 引張耐力 () せん断耐力 () アンカー本体径 () アンカー本体の埋込み長さ () アンカーのセット方式 ※埋込式改良型 ・ () 接合筋 種類 () 径 () 長さ ()	仮組の実施 ・実施する ・実施しない									
4 施工 (8.7.8)	スリーブに用いる材種、規格等 ・銅管 (JIS G 3452 (配管用炭素鋼管) の白管) ・硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741 (硬質ポリ塩化ビニル管) のVU) ・溶融亜鉛めっき鋼板 (径200mm以下 厚0.4mm以上) ・溶融亜鉛めっき鋼板 (径200mmを超え350mm以下 厚0.6mm以上) ・つば付き鋼管 (JIS G 3452の黒管に、厚さ6mm以上、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの)	2 施工 (8.3.2) (表8.3.1)	鉄筋の折曲げ形状及び寸法 ・90°未満の折曲げの内法直径 () 鉄筋の継手 ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械式継手 ・溶接継手 位置 ・図示 ・ () 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の重ね継手の長さ (重ね継手の場合) 柱の重ね継手の長さ () 梁の重ね継手の長さ () 耐力壁の重ね継手の長さ ※耐力壁の重ね継手の長さは、40d (軽量コンクリートの場合)は50d)又は、【表8.3.2】の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。 ・ ()	高力ボルト接合 摩擦面のすべり試験の実施の適用 ・有 ・無 ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超えるJIS高力ボルトをナット回転法にて締め付ける場合の回転量 ・ ()								
	外部に面するコンクリートの打増し厚さ ・ () シアコネクタをセパレーターとして使用 ・有 ・無 型枠の存置期間及び取外し ・型枠の最小存置期間 (セメントの種類が普通エコセメントの場合) () 日	接着系アンカーの仕様 引張耐力 () せん断耐力 () アンカーの種類 ※カプセル式の回転・打撃式 ・ () アンカー筋 種類 () 径 () 埋込み長さ () 新設壁内への定着の長さ ()	柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所にする(先組み工法等の場合) ・有 (・図示 ・ ()) ・無	溶接接合 技能資格者に対して行う技量付加試験 ・実施する ・実施しない 開先の形状 ・図示 ・ () エンドタブの切断箇所及び切断範囲 ・図示 ・ () エンドタブの切断面の仕上げ ※グラインダーにより、粗さ100μmR _a 程度以下及びノッチ深さ1mm程度以下に仕上げる ・図示 ・ () 低応力高サイクル疲労を受ける部位 ・図示 ・ () スカラップの形状 ・図示 ・ () 溶接部の試験 外観試験 「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示1646号)第二号に関する試験の方法等 ・ () JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験の方法等 ・ () 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験の適用 ・適用する 検査水準 ・第 (・1 ・2 ・3 ・4 ・5 ・6) 水準 ・適用しない								
		鉄筋の折曲げ形状及び寸法 ・90°未満の折曲げの内法直径 () 鉄筋の継手 ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械式継手 ・溶接継手 位置 ・図示 ・ () 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の重ね継手の長さ (重ね継手の場合) 柱の重ね継手の長さ () 梁の重ね継手の長さ () 耐力壁の重ね継手の長さ ※耐力壁の重ね継手の長さは、40d (軽量コンクリートの場合)は50d)又は、【表8.3.2】の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。 ・ ()	製作工場の加工能力 ・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国作工場の性能評価基準)に定める「()グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承諾する製作工場	溶接接合 摩擦面のすべり試験の実施の適用 ・有 ・無 ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超えるJIS高力ボルトをナット回転法にて締め付ける場合の回転量 ・ ()								
		鉄筋の折曲げ形状及び寸法 ・90°未満の折曲げの内法直径 () 鉄筋の継手 ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械式継手 ・溶接継手 位置 ・図示 ・ () 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の重ね継手の長さ (重ね継手の場合) 柱の重ね継手の長さ () 梁の重ね継手の長さ () 耐力壁の重ね継手の長さ ※耐力壁の重ね継手の長さは、40d (軽量コンクリートの場合)は50d)又は、【表8.3.2】の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。 ・ ()	製作工場における施工管理技術者 ※配置する ・配置しない	溶接接合 摩擦面のすべり試験の実施の適用 ・有 ・無 ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超えるJIS高力ボルトをナット回転法にて締め付ける場合の回転量 ・ ()								
概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕			図面番号
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	改修特記仕様書(10)			改特-10
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	縮尺	A1:N.S. A3:N.S.			

	<p>(8.27.6) 防錆処置 () 設置位置の寸法許容差 () (8.27.8) 割製補強筋の仕様 ・スパイラル筋 ・はしご筋 ・ () (8.27.9) 減衰材設置後の仕上げ () 設置完了時の検査の項目及び数量</p> <table border="1" data-bbox="341 220 756 367"> <tr> <th>検査項目</th> <th>数量</th> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	検査項目	数量	・ ()	・ ()		<p>3 砂利、砂、捨コンクリート地業等 (8.28.4)</p>	<p>・砂利地業 厚さ及び範囲</p> <table border="1" data-bbox="1023 136 1469 220"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>範囲</th> </tr> <tr> <td>※60</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>・砂地業 厚さ及び範囲</p> <table border="1" data-bbox="1023 283 1469 367"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>範囲</th> </tr> <tr> <td>※60</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>・捨コンクリート地業 厚さ(mm)</p> <table border="1" data-bbox="1023 409 1469 493"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>範囲</th> </tr> <tr> <td>※50</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	厚さ(mm)	範囲	※60	・ ()	・ ()	・ ()	厚さ(mm)	範囲	※60	・ ()	・ ()	・ ()	厚さ(mm)	範囲	※50	・ ()	・ ()	・ ()	<p>※測定点の位置は、監督員との協議による ※処理作業が1週間以上続く場合には、各週で測定を行うこと。 ※施工区画周辺については、以下のとおりとする。 作業室面積が50㎡未満の時は、2点とする。 作業室面積が300㎡未満の時は、3点とする。</p> <p>測定方法 石綿粉じん濃度の測定方法は、JIS K3850-1「空气中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査型電子顕微鏡」、労働省告示第46号「作業環境測定基準」に従い(公社)日本作業環境測定協会が発行している「作業環境測定ガイドブック1-鉱物性粉じん・石綿・RCF-」又は環境省「アスベストモニタリングマニュアル」に示されている方法による。</p> <p>測定機関 作業環境測定機関(厚生労働大臣又は都道府県労働局長の登録を受けた機関)若しくは環境計量機関又はこれと同等以上の技術を有する者・機関</p> <p>報告書 1部作成</p> <p>① 作業計画書の提出</p> <p>② 石綿作業主任者</p> <p>③ 特別管理産業廃棄物管理責任者</p> <p>④ 表示及び掲示</p> <p>⑤ 除去作業者</p> <p>⑥ 除去作業 (9.1.3)</p> <p>(9.1.4)</p>	<p>(9.1.5)</p> <p>(9.1.6)</p> <p>特定建築材料(レ`#1、レ`#2、レ`#3及び石綿含有仕上塗材)の除去にあたり、作業開始前に特定建築材料作業計画書を提出し、発注者の承諾を受けること。</p> <p>除去工事共通事項 特定建築材料の除去にあたり、石綿障害予防規則第19条に基づき、石綿作業主任者の選任を行うものとする。 なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。</p> <p>除去工事共通事項 特別管理産業廃棄物管理責任者の選任 特別管理産業廃棄物の除去工事にあたり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく特別管理産業廃棄物管理責任者の選任を行うものとする。</p> <p>「建築物等の解体等の作業を行うに当たっての石綿ばく露防止対策の実施内容の揭示について」(平成17年8月2日 厚生労働省通知起案発第0802001号)、「大気環境中への石綿(アスベスト)の飛散防止対策の徹底と実施内容の揭示について」(平成17年8月19日 厚生労働省通知起案発第050809002号)に基づき、実施内容を見やすい場所に掲示すること。</p> <p>1 作業員は就業時に石綿障害予防規則第27条に基づく教育を受けたものとする。 2 作業員の健康診断 石綿障害予防規則(以下、石綿則という。)に基づく特殊健康診断(6ヶ月以内に1回定期的に受診)とじん肺法に基づくじん肺健康診断(3年以内に1回)を受診した者とし、診断の結果、肺機能に異常がない者とする。</p> <p>・石綿含有吹付け材の除去 除去工法 ※[9.1.3(2)(7)(a)~(d)]による ・ () 除去対象範囲 ・図示 ・ () 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 ・埋立処分(管理型最終処分場の一定の場所) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理)</p> <p>・石綿含有保温材の除去 除去工法 ・破碎して除去する ・原形のまま、手ばらし 除去対象範囲 ・図示 ・ () 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場の一定の場所) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理)</p>	<p>(9.1.5)</p> <p>(9.1.6)</p> <p>⑦ 作業完了後の報告</p>	<p>①石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 ①図示 ・ () 作業場所の周辺の養生 ①行う ・行わない 原則、原形のまま撤去すること。但し、撤去することが困難な場合は飛散防止抑制剤等を用いて飛散防止処置を行うこと。 除去した石綿含有成形板の処分 ①石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場の一定の場所) ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場の一定の場所) ・中間処理(溶融施設)</p> <p>・石綿含有仕上塗材の除去 除去工法 ・高圧水洗工法 ・剥離剤 ・ () 除去対象範囲 ・図示 ・ () 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場の一定の場所) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理) ・汚泥として処理 保管方法 () 運搬方法 () 処分方法 () ※アスベスト含有仕上塗材への「カッター入れ」や「穿孔」の作業を行う際、大気汚染防止法施行規則別表第七第一の項下欄イ~エの事項を遵守するか、それらと「同等以上の効果を有する措置(※1)」を講ずること (※1)「同等以上の効果を有する措置」は下記の何れかの工法とする ・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下) ・集じん装置付き超高圧水洗工法 ・超音波ケレン工法 ・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ※上記の工法で集じん装置を用いる場合、専用のHEPAフィルターを内蔵した集じん装置を用い、且つ敷地内にフィルター交換を行うための施設(※2)を設けること。 ※廃棄するアスベスト含有仕上塗材を一時保管する施設(※2)を敷地内に設けること。また、保管場所には石綿含有仕上塗材が保管されている旨を掲示すること。 (※2)：施設の構造は単管及びビニルシート等で構成し、一定の気密性を保つものとする なお、フィルター交換を行うための施設及び一時保管する施設は兼用とすることができる</p> <p>室内アスベスト除去作業時の養生 剥離場所をLGSや木下地等を用いて作業場所を区画養生を行った状態で作業を行うこと。養生にはポリシートを用いること。</p> <p>特定建築材料の除去作業完了後の報告 大気汚染防止法18条23第1項に基づき除去作業完了後、速やかに作業結果報告書を発注者へ提出すること。</p>																																																				
検査項目	数量																																																																																	
・ ()	・ ()																																																																																	
厚さ(mm)	範囲																																																																																	
※60	・ ()																																																																																	
・ ()	・ ()																																																																																	
厚さ(mm)	範囲																																																																																	
※60	・ ()																																																																																	
・ ()	・ ()																																																																																	
厚さ(mm)	範囲																																																																																	
※50	・ ()																																																																																	
・ ()	・ ()																																																																																	
<p>8-5 耐震改修工事 土工事及び地業工事</p>	<p>1 土工事 (8.28.2) 既存杭の撤去等 ・撤去範囲及び撤去方法(既存杭の一部を撤去する場合) 範囲 () 方法 () 既存杭の杭頭部等の処理の適用 ・有 ・無 既存杭の補強の適用 ・有 方法 () ・無 既存杭の健全性を確認する試験の適用 ・有 ・無</p> <p>(8.28.3) 埋戻し及び盛土の種類 ・材料 () 工法 () 適用場所 () (表8.28.1) ・A種 適用場所 () ・B種 適用場所 () ・C種 適用場所 () ・D種 適用場所 () (C種の場合)土質 () 受渡場所 ()</p> <p>(8.28.3) ・建設発生土の処理 ※指定処分 現場説明書(3-(5))による ・場内処理(図示)</p> <p>(8.28.4) ・試験杭 位置 ・図示 ・ () 本数 () 寸法 () 施工方法 ()</p> <p>載荷試験 ・杭の載荷試験 方法(・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験) 試験杭の位置 ・図示 ・ () 本数 () 載荷荷重 () 報告書の記載事項 ・ () ・ () ・ () ・地盤の載荷試験 (※平板載荷試験) 試験位置 ・図示 ・ () 載荷荷重 ・ () 報告書の記載事項 ・ ()</p> <p>2 杭地業 (8.28.4) 杭地業の工法 () 支持層の位置 ・図示 ・ () 土質 ・図示 ・ () 杭の根入れ長さ ・図示 ・ () 水平方向の位置ずれの精度 ・図示 ・ () 杭の寸法 ・図示 ・ () 杭の継手を溶接とする場合の技能資格者の技量 ・ () の試験に基づく能力を有する 技量の確認試験 ・有 ・無 杭頭処理の適用 ・有 ・無 本杭の施工方法 ()</p>	<p>9 環境配慮改修工事</p> <p>① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示 ・ () 石綿含有建材の調査 石綿含有建材の事前調査 ①行う ・行わない 調査方法 ①工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、調査結果を発注者に書面で説明する。 調査範囲 ①図示 ・ () 貸与資料 () 石綿含有の有無 石綿含有吹付け材除去工事(レ`#1 届出対象特定工事) ・有 ①無 石綿含有保温材等(レ`#2 届出対象特定工事) ・有 ①無 石綿含有成形板除去工事(レ`#3) ①有 ・無 石綿含有仕上塗材等 ・有 ①無</p> <table border="1" data-bbox="1023 892 1469 1102"> <tr> <th>材料名</th> <th>飛散性</th> <th>石綿の種類</th> <th>含有率</th> </tr> <tr> <td>有孔化粒石こうボード</td> <td>非飛散性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>分析による石綿含有建材の調査の適用 ・有 ①無 分析対象 アモサイト、クリソタイト、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による</p> <table border="1" data-bbox="1023 1270 1469 1354"> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル(10cm3/箇所、100cm2/箇所) 採取箇所 ・図示 ・ ()</p> <p>石綿粉じん濃度測定 ・行う ①行わない</p> <p>石綿粉じん濃度測定の測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1" data-bbox="1023 1501 1469 1858"> <tr> <th>適用 測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td>・ 測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・2点 ・3点</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 2</td> <td></td> <td>敷地境界</td> <td>・4方向各1点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>施工区画周辺</td> <td>・2点(各階毎)</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 4</td> <td>(試験作業時</td> <td>セキリイノン入口</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 5</td> <td>及び 本作業時)</td> <td>集じん・廃棄装置 排出口(処理作業 室外の場合)</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 6</td> <td>1週に1回</td> <td>敷地境界</td> <td>・4方向各1点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>施工区画周辺</td> <td>・2点(各階毎)</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 7</td> <td>処理作業後 (隔離シート撤去前)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・1点(足場内) ・2点(各階毎)</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 8</td> <td>処理作業後 (隔離シート撤去後)</td> <td>敷地境界</td> <td>・4方向各1点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>施工区画周辺</td> <td>・1点(各階毎)</td> </tr> </table>	材料名	飛散性	石綿の種類	含有率	有孔化粒石こうボード	非飛散性																			材 料 名	定性分析	定量分析	・箇所数()	・箇所数()	適用 測定名称	測定時期	測定場所	測定点	・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内	・2点 ・3点	・ 測定 2		敷地境界	・4方向各1点			施工区画周辺	・2点(各階毎)	・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内	2点	・ 測定 4	(試験作業時	セキリイノン入口	1点	・ 測定 5	及び 本作業時)	集じん・廃棄装置 排出口(処理作業 室外の場合)	1点	・ 測定 6	1週に1回	敷地境界	・4方向各1点			施工区画周辺	・2点(各階毎)	・ 測定 7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	・1点(足場内) ・2点(各階毎)	・ 測定 8	処理作業後 (隔離シート撤去後)	敷地境界	・4方向各1点			施工区画周辺	・1点(各階毎)	<p>有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344</p>	<p>〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201 1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号 1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸</p>	<p>工事名称 市立上溝中学校給食配膳室修繕</p> <p>図面名称 改修特記仕様書(12)</p> <p>縮尺 A1:N.S. A3:N.S.</p> <p>図面番号 改特-1 2</p>
材料名	飛散性	石綿の種類	含有率																																																																															
有孔化粒石こうボード	非飛散性																																																																																	
材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																
	・箇所数()	・箇所数()																																																																																
適用 測定名称	測定時期	測定場所	測定点																																																																															
・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内	・2点 ・3点																																																																															
・ 測定 2		敷地境界	・4方向各1点																																																																															
		施工区画周辺	・2点(各階毎)																																																																															
・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内	2点																																																																															
・ 測定 4	(試験作業時	セキリイノン入口	1点																																																																															
・ 測定 5	及び 本作業時)	集じん・廃棄装置 排出口(処理作業 室外の場合)	1点																																																																															
・ 測定 6	1週に1回	敷地境界	・4方向各1点																																																																															
		施工区画周辺	・2点(各階毎)																																																																															
・ 測定 7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	・1点(足場内) ・2点(各階毎)																																																																															
・ 測定 8	処理作業後 (隔離シート撤去後)	敷地境界	・4方向各1点																																																																															
		施工区画周辺	・1点(各階毎)																																																																															
<p>概要</p>	<p>設計年月日 R8.03</p>	<p>変更年月日</p>	<p>検印</p>	<p>設計</p>	<p>製図</p>	<p>概要</p>	<p>概要</p>	<p>概要</p>																																																																										

2 外断熱改修工事 (9.2.2) (9.2.3) (4.1.4) (9.2.4)	断熱材の種類 () 厚さ () 外装材の種類 () 断熱性能 () 既存外壁の仕上材の撤去 ・有 (・図示) ・無 下地面の清掃の適用 ・有 ・無 断熱材を設置する部分の下地に欠損がある場合の改修工法 () 工法 (建築基準法に基づく風圧力に対応) () 下地等の不陸調整 ・有 () ・無 断熱材の施工 ・有 () ・無 通気層 ・有 厚さ () ・無 外装材の外壁への取り付けの適用 ・有 ・無 外装材の施工 ()	(9.5.3)	・路床 路床の材料等	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・遮断層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層 (透水性舗装)</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	種別	材料	厚さ (mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示	・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下)	・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・図示	・フィルター層 (透水性舗装)	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示	<p>(表8.28.1)</p> <p>(表9.5.2)</p> <p>(9.5.3)</p> <p>(表9.5.3)</p> <p>(9.5.5)</p> <p>(9.5.9)</p>	<p>・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号・1号) ・消石灰 (・特号・1号)</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ※行う ・行わない</p> <p>・路盤 路盤の厚さ ・図示 ・() 路盤材料 ・図示 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン ・再生粒度調整砕石 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>・舗装部 材料 ストレートアスファルト ・図示 ・() 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの ・() 試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p>	<p>(b)</p> <p>(c)</p>	8	ブラインドボックス カーテンボックス	<ul style="list-style-type: none"> 既存再使用する 新設する <p>※市販品 (アルミニウム製 押出し型材) ・木製 (汁・米桐)</p> <p>溝幅×高さ (mm) ※150×150 ・150×200 ・120×80 ・120×150</p> <p>色彩 ・B1-1 ・B-2 (※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ※EP-G塗装</p>																																									
		種別	材料		厚さ (mm)																																																													
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示																																																																
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下)	・図示																																																																
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・図示																																																																
・フィルター層 (透水性舗装)	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示																																																																
9 黒板及び ホワイトボード	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色 彩</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・黒板</td> <td>※黒・白製 ※緑 ・黒</td> <td>※半局面 ・平面 ・上下 ・スクリーン付引分け</td> </tr> <tr> <td>・ホワイトボード</td> <td>※黒・白製 ※白</td> <td>※半局面 ・平面 ・上下 ・スクリーン付引分け</td> </tr> </table>	種類	色 彩	備 考	・黒板	※黒・白製 ※緑 ・黒	※半局面 ・平面 ・上下 ・スクリーン付引分け	・ホワイトボード	※黒・白製 ※白	※半局面 ・平面 ・上下 ・スクリーン付引分け	10 表示標識	誘導標識 (蓄光タイプ)、消火器標識等は市販品とする	11 天井点検口	材質 アルミニウム製 (※額縁タイプ ・目地タイプ)	12 屋内表示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※ペルトーン貼り ※コンセント、スイッチ類の位置を施工前に確認し、位置及び寸法を適宜調整すること。	13 洗面カウンター	材質 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材:集成材) ・人工大理石 (品質 ※図示) 奥行 (mm) ・約500 ・約550 ・約600	14 流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・流し台</td> <td>・1200</td> <td>・550</td> <td>・800</td> <td rowspan="3">市販品 コンロ台含む トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・1500</td> <td>・600</td> <td>・850</td> </tr> <tr> <td>・1800</td> <td>・650</td> <td>・650</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・590</td> <td>・620</td> <td rowspan="3">市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・600</td> <td>・670</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・650</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・つり戸棚</td> <td>・1800</td> <td rowspan="4">・370</td> <td>・500</td> <td rowspan="4">市販品</td> </tr> <tr> <td>・1500</td> <td>・470</td> </tr> <tr> <td>・1200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・900</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・600</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>市販品 ステンレス製 ・1段式</td> </tr> </table> <p>品質・性能 JIS A 4420による 形状 ※図示</p>	材種	寸法 (mm)			備考	W	D	H	・流し台	・1200	・550	・800	市販品 コンロ台含む トラップ付き 天板ステンレス製	・1500	・600	・850	・1800	・650	・650	・コンロ台	・600	・590	・620	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・600	・670		・650			・つり戸棚	・1800	・370	・500	市販品	・1500	・470	・1200		・900		・水切り	・600	-	-	市販品 ステンレス製 ・1段式
種類	色 彩	備 考																																																																
・黒板	※黒・白製 ※緑 ・黒	※半局面 ・平面 ・上下 ・スクリーン付引分け																																																																
・ホワイトボード	※黒・白製 ※白	※半局面 ・平面 ・上下 ・スクリーン付引分け																																																																
材種	寸法 (mm)			備考																																																														
	W	D	H																																																															
・流し台	・1200	・550	・800	市販品 コンロ台含む トラップ付き 天板ステンレス製																																																														
	・1500	・600	・850																																																															
	・1800	・650	・650																																																															
・コンロ台	・600	・590	・620	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																														
	・600	・670																																																																
	・650																																																																	
・つり戸棚	・1800	・370	・500	市販品																																																														
	・1500		・470																																																															
	・1200																																																																	
	・900																																																																	
・水切り	・600	-	-	市販品 ステンレス製 ・1段式																																																														
3 断熱・防露改修工事 (9.3.2)	・断熱材打込み工法 JIS A9521に基づく発泡プラスチック断熱材断熱材の種類及び厚さ 種類 () 厚さ () フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド拡散量 ※F☆☆☆☆ () 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド拡散量 ※F☆☆☆☆ ()	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	10	その 他	11	防火上主要な 間仕切り壁	<ul style="list-style-type: none"> LGS100型下地 両面強化石膏ボード't15+t15 (耐火間仕切り壁) (1時間耐火 FP060NP-0174) LGS100型下地 両面強化石膏ボード't21+t21 (建設省告示1399号仕様) <p>※ 隙間処理 (充てん材) は柱、梁及びパーテーションとの取合部(四周)において施工する。</p> <p>【防火上主要な間仕切り壁 断面詳細図 (参考図)】</p> <p>(a)</p>	2 階段滑り止め	材質 ステンレスSUS304 形状 ビニルタイヤ入り 両面フラットエンド ※無し ・有り 幅 (mm) ・30 ・35 ・40 取付け工法 ・接着工法 (ビス止め併用) ・埋込み工法	3 階段手すり	※樹脂製ハンドレール (φ40・2段・点字付) ・	4 フリーアクセスフロア	<p>施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>構法</th> <th>仕切り高さ</th> <th>適用地震時 水平力</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td>※パネル構法</td> <td></td> <td>・1.0G</td> <td>・タイルカーペット ・塩ビタイル</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、各仕上げ材の項目による。 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途工事) 配線用取り出し用開口 ※製造所の標準仕様</p>	構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材	※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル	5 トイレブース	仕様 ベーパーコア パーティクルボードt9.0裏打ち メラミン樹脂化粧板 金属等 アルミアルエッジ SUS頭つなぎ (ふた付) グラビティヒンジ SUS幅木 非常解放戸当たり 帽子掛け 表示錠付スライドボルト (非常開閉装置付)	6 ブラインド	<ul style="list-style-type: none"> 既存再使用する (養生方法:) 新設する <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">形式</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">スラット</th> </tr> <tr> <th>材種</th> <th>幅 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※横型</td> <td rowspan="2">※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>※25 ・35</td> </tr> <tr> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦型</td> <td rowspan="2">・1本操作コード式 ・2本操作コード式</td> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td>・クロススラット</td> <td>・100</td> </tr> </table>	形式	種類	スラット		材種	幅 (mm)	※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35	・アルミスラット	・80	・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80	・クロススラット	・100	7 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> 既存再利用する 新設する <p>材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 型式 ○片引き ・引分け (※暗幕用は、300mm以上の召合せの重掛けとする。)</p>																	
構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材																																																															
※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル																																																															
形式	種類	スラット																																																																
		材種	幅 (mm)																																																															
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35																																																															
		・アルミスラット	・80																																																															
・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80																																																															
		・クロススラット	・100																																																															
4 屋上緑化 (9.4.2)	芝及び地被類の種類等 ・図示による 芝 ・種類 () 地被類 ・種類 () ポット径 () 芽立数 () その他の材料 ・見切り材 種類 () ・舗装材 種類 () ・排水孔 種類 () 形状 () ・マルチング材 種類 ()	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	10	その 他	11	防火上主要な 間仕切り壁	<ul style="list-style-type: none"> LGS100型下地 両面強化石膏ボード't15+t15 (耐火間仕切り壁) (1時間耐火 FP060NP-0174) LGS100型下地 両面強化石膏ボード't21+t21 (建設省告示1399号仕様) <p>※ 隙間処理 (充てん材) は柱、梁及びパーテーションとの取合部(四周)において施工する。</p> <p>【防火上主要な間仕切り壁 断面詳細図 (参考図)】</p> <p>(a)</p>	2 階段滑り止め	材質 ステンレスSUS304 形状 ビニルタイヤ入り 両面フラットエンド ※無し ・有り 幅 (mm) ・30 ・35 ・40 取付け工法 ・接着工法 (ビス止め併用) ・埋込み工法	3 階段手すり	※樹脂製ハンドレール (φ40・2段・点字付) ・	4 フリーアクセスフロア	<p>施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>構法</th> <th>仕切り高さ</th> <th>適用地震時 水平力</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td>※パネル構法</td> <td></td> <td>・1.0G</td> <td>・タイルカーペット ・塩ビタイル</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、各仕上げ材の項目による。 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途工事) 配線用取り出し用開口 ※製造所の標準仕様</p>	構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材	※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル	5 トイレブース	仕様 ベーパーコア パーティクルボードt9.0裏打ち メラミン樹脂化粧板 金属等 アルミアルエッジ SUS頭つなぎ (ふた付) グラビティヒンジ SUS幅木 非常解放戸当たり 帽子掛け 表示錠付スライドボルト (非常開閉装置付)	6 ブラインド	<ul style="list-style-type: none"> 既存再使用する (養生方法:) 新設する <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">形式</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">スラット</th> </tr> <tr> <th>材種</th> <th>幅 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※横型</td> <td rowspan="2">※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>※25 ・35</td> </tr> <tr> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦型</td> <td rowspan="2">・1本操作コード式 ・2本操作コード式</td> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td>・クロススラット</td> <td>・100</td> </tr> </table>	形式	種類	スラット		材種	幅 (mm)	※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35	・アルミスラット	・80	・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80	・クロススラット	・100	7 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> 既存再利用する 新設する <p>材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 型式 ○片引き ・引分け (※暗幕用は、300mm以上の召合せの重掛けとする。)</p>																	
構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材																																																															
※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル																																																															
形式	種類	スラット																																																																
		材種	幅 (mm)																																																															
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35																																																															
		・アルミスラット	・80																																																															
・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80																																																															
		・クロススラット	・100																																																															
5 透水性アスファルト 舗装改修工事 (9.5.2)	既存舗装の撤去 ・有 範囲 (・図示 ()) ・無 既存舗装の一部を撤去しないで再利用する場合 ・有 ・無	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	10	その 他	11	防火上主要な 間仕切り壁	<ul style="list-style-type: none"> LGS100型下地 両面強化石膏ボード't15+t15 (耐火間仕切り壁) (1時間耐火 FP060NP-0174) LGS100型下地 両面強化石膏ボード't21+t21 (建設省告示1399号仕様) <p>※ 隙間処理 (充てん材) は柱、梁及びパーテーションとの取合部(四周)において施工する。</p> <p>【防火上主要な間仕切り壁 断面詳細図 (参考図)】</p> <p>(a)</p>	2 階段滑り止め	材質 ステンレスSUS304 形状 ビニルタイヤ入り 両面フラットエンド ※無し ・有り 幅 (mm) ・30 ・35 ・40 取付け工法 ・接着工法 (ビス止め併用) ・埋込み工法	3 階段手すり	※樹脂製ハンドレール (φ40・2段・点字付) ・	4 フリーアクセスフロア	<p>施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>構法</th> <th>仕切り高さ</th> <th>適用地震時 水平力</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td>※パネル構法</td> <td></td> <td>・1.0G</td> <td>・タイルカーペット ・塩ビタイル</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、各仕上げ材の項目による。 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途工事) 配線用取り出し用開口 ※製造所の標準仕様</p>	構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材	※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル	5 トイレブース	仕様 ベーパーコア パーティクルボードt9.0裏打ち メラミン樹脂化粧板 金属等 アルミアルエッジ SUS頭つなぎ (ふた付) グラビティヒンジ SUS幅木 非常解放戸当たり 帽子掛け 表示錠付スライドボルト (非常開閉装置付)	6 ブラインド	<ul style="list-style-type: none"> 既存再使用する (養生方法:) 新設する <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">形式</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">スラット</th> </tr> <tr> <th>材種</th> <th>幅 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※横型</td> <td rowspan="2">※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>※25 ・35</td> </tr> <tr> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦型</td> <td rowspan="2">・1本操作コード式 ・2本操作コード式</td> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td>・クロススラット</td> <td>・100</td> </tr> </table>	形式	種類	スラット		材種	幅 (mm)	※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35	・アルミスラット	・80	・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80	・クロススラット	・100	7 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> 既存再利用する 新設する <p>材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 型式 ○片引き ・引分け (※暗幕用は、300mm以上の召合せの重掛けとする。)</p>																	
構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材																																																															
※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル																																																															
形式	種類	スラット																																																																
		材種	幅 (mm)																																																															
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35																																																															
		・アルミスラット	・80																																																															
・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80																																																															
		・クロススラット	・100																																																															
9.4.3	工法 ・「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応する。 ・かん水装置の設置 かん水に使用する水 ・上水 ・貯留雨水 () 種類 ・スプリンクラー ・散水パイプ ()	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	10	その 他	11	防火上主要な 間仕切り壁	<ul style="list-style-type: none"> LGS100型下地 両面強化石膏ボード't15+t15 (耐火間仕切り壁) (1時間耐火 FP060NP-0174) LGS100型下地 両面強化石膏ボード't21+t21 (建設省告示1399号仕様) <p>※ 隙間処理 (充てん材) は柱、梁及びパーテーションとの取合部(四周)において施工する。</p> <p>【防火上主要な間仕切り壁 断面詳細図 (参考図)】</p> <p>(a)</p>	2 階段滑り止め	材質 ステンレスSUS304 形状 ビニルタイヤ入り 両面フラットエンド ※無し ・有り 幅 (mm) ・30 ・35 ・40 取付け工法 ・接着工法 (ビス止め併用) ・埋込み工法	3 階段手すり	※樹脂製ハンドレール (φ40・2段・点字付) ・	4 フリーアクセスフロア	<p>施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>構法</th> <th>仕切り高さ</th> <th>適用地震時 水平力</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td>※パネル構法</td> <td></td> <td>・1.0G</td> <td>・タイルカーペット ・塩ビタイル</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、各仕上げ材の項目による。 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途工事) 配線用取り出し用開口 ※製造所の標準仕様</p>	構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材	※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル	5 トイレブース	仕様 ベーパーコア パーティクルボードt9.0裏打ち メラミン樹脂化粧板 金属等 アルミアルエッジ SUS頭つなぎ (ふた付) グラビティヒンジ SUS幅木 非常解放戸当たり 帽子掛け 表示錠付スライドボルト (非常開閉装置付)	6 ブラインド	<ul style="list-style-type: none"> 既存再使用する (養生方法:) 新設する <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">形式</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">スラット</th> </tr> <tr> <th>材種</th> <th>幅 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※横型</td> <td rowspan="2">※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>※25 ・35</td> </tr> <tr> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦型</td> <td rowspan="2">・1本操作コード式 ・2本操作コード式</td> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td>・クロススラット</td> <td>・100</td> </tr> </table>	形式	種類	スラット		材種	幅 (mm)	※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35	・アルミスラット	・80	・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80	・クロススラット	・100	7 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> 既存再利用する 新設する <p>材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 型式 ○片引き ・引分け (※暗幕用は、300mm以上の召合せの重掛けとする。)</p>																	
構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材																																																															
※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル																																																															
形式	種類	スラット																																																																
		材種	幅 (mm)																																																															
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35																																																															
		・アルミスラット	・80																																																															
・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80																																																															
		・クロススラット	・100																																																															
9.4.4	既存保護層等の撤去工法の適用 ・有 【3.2.3】 ・無 新植樹木の枯補償期間 ※引渡しの日から1年 () 同等以上のものを再移植するものとする	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	10	その 他	11	防火上主要な 間仕切り壁	<ul style="list-style-type: none"> LGS100型下地 両面強化石膏ボード't15+t15 (耐火間仕切り壁) (1時間耐火 FP060NP-0174) LGS100型下地 両面強化石膏ボード't21+t21 (建設省告示1399号仕様) <p>※ 隙間処理 (充てん材) は柱、梁及びパーテーションとの取合部(四周)において施工する。</p> <p>【防火上主要な間仕切り壁 断面詳細図 (参考図)】</p> <p>(a)</p>	2 階段滑り止め	材質 ステンレスSUS304 形状 ビニルタイヤ入り 両面フラットエンド ※無し ・有り 幅 (mm) ・30 ・35 ・40 取付け工法 ・接着工法 (ビス止め併用) ・埋込み工法	3 階段手すり	※樹脂製ハンドレール (φ40・2段・点字付) ・	4 フリーアクセスフロア	<p>施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>構法</th> <th>仕切り高さ</th> <th>適用地震時 水平力</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td>※パネル構法</td> <td></td> <td>・1.0G</td> <td>・タイルカーペット ・塩ビタイル</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、各仕上げ材の項目による。 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途工事) 配線用取り出し用開口 ※製造所の標準仕様</p>	構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材	※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル	5 トイレブース	仕様 ベーパーコア パーティクルボードt9.0裏打ち メラミン樹脂化粧板 金属等 アルミアルエッジ SUS頭つなぎ (ふた付) グラビティヒンジ SUS幅木 非常解放戸当たり 帽子掛け 表示錠付スライドボルト (非常開閉装置付)	6 ブラインド	<ul style="list-style-type: none"> 既存再使用する (養生方法:) 新設する <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">形式</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">スラット</th> </tr> <tr> <th>材種</th> <th>幅 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※横型</td> <td rowspan="2">※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>※25 ・35</td> </tr> <tr> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦型</td> <td rowspan="2">・1本操作コード式 ・2本操作コード式</td> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td>・クロススラット</td> <td>・100</td> </tr> </table>	形式	種類	スラット		材種	幅 (mm)	※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35	・アルミスラット	・80	・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80	・クロススラット	・100	7 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> 既存再利用する 新設する <p>材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 型式 ○片引き ・引分け (※暗幕用は、300mm以上の召合せの重掛けとする。)</p>																	
構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材																																																															
※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル																																																															
形式	種類	スラット																																																																
		材種	幅 (mm)																																																															
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35																																																															
		・アルミスラット	・80																																																															
・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80																																																															
		・クロススラット	・100																																																															
9.4.3	工法 ・「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応する。 ・かん水装置の設置 かん水に使用する水 ・上水 ・貯留雨水 () 種類 ・スプリンクラー ・散水パイプ ()	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	10	その 他	11	防火上主要な 間仕切り壁	<ul style="list-style-type: none"> LGS100型下地 両面強化石膏ボード't15+t15 (耐火間仕切り壁) (1時間耐火 FP060NP-0174) LGS100型下地 両面強化石膏ボード't21+t21 (建設省告示1399号仕様) <p>※ 隙間処理 (充てん材) は柱、梁及びパーテーションとの取合部(四周)において施工する。</p> <p>【防火上主要な間仕切り壁 断面詳細図 (参考図)】</p> <p>(a)</p>	2 階段滑り止め	材質 ステンレスSUS304 形状 ビニルタイヤ入り 両面フラットエンド ※無し ・有り 幅 (mm) ・30 ・35 ・40 取付け工法 ・接着工法 (ビス止め併用) ・埋込み工法	3 階段手すり	※樹脂製ハンドレール (φ40・2段・点字付) ・	4 フリーアクセスフロア	<p>施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>構法</th> <th>仕切り高さ</th> <th>適用地震時 水平力</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td>※パネル構法</td> <td></td> <td>・1.0G</td> <td>・タイルカーペット ・塩ビタイル</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、各仕上げ材の項目による。 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途工事) 配線用取り出し用開口 ※製造所の標準仕様</p>	構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材	※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル	5 トイレブース	仕様 ベーパーコア パーティクルボードt9.0裏打ち メラミン樹脂化粧板 金属等 アルミアルエッジ SUS頭つなぎ (ふた付) グラビティヒンジ SUS幅木 非常解放戸当たり 帽子掛け 表示錠付スライドボルト (非常開閉装置付)	6 ブラインド	<ul style="list-style-type: none"> 既存再使用する (養生方法:) 新設する <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">形式</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">スラット</th> </tr> <tr> <th>材種</th> <th>幅 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※横型</td> <td rowspan="2">※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>※25 ・35</td> </tr> <tr> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦型</td> <td rowspan="2">・1本操作コード式 ・2本操作コード式</td> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td>・クロススラット</td> <td>・100</td> </tr> </table>	形式	種類	スラット		材種	幅 (mm)	※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35	・アルミスラット	・80	・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80	・クロススラット	・100	7 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> 既存再利用する 新設する <p>材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 型式 ○片引き ・引分け (※暗幕用は、300mm以上の召合せの重掛けとする。)</p>																	
構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材																																																															
※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル																																																															
形式	種類	スラット																																																																
		材種	幅 (mm)																																																															
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35																																																															
		・アルミスラット	・80																																																															
・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80																																																															
		・クロススラット	・100																																																															
9.4.4	既存保護層等の撤去工法の適用 ・有 【3.2.3】 ・無 新植樹木の枯補償期間 ※引渡しの日から1年 () 同等以上のものを再移植するものとする	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	試験	(9.5.3)	10	その 他	11	防火上主要な 間仕切り壁	<ul style="list-style-type: none"> LGS100型下地 両面強化石膏ボード't15+t15 (耐火間仕切り壁) (1時間耐火 FP060NP-0174) LGS100型下地 両面強化石膏ボード't21+t21 (建設省告示1399号仕様) <p>※ 隙間処理 (充てん材) は柱、梁及びパーテーションとの取合部(四周)において施工する。</p> <p>【防火上主要な間仕切り壁 断面詳細図 (参考図)】</p> <p>(a)</p>	2 階段滑り止め	材質 ステンレスSUS304 形状 ビニルタイヤ入り 両面フラットエンド ※無し ・有り 幅 (mm) ・30 ・35 ・40 取付け工法 ・接着工法 (ビス止め併用) ・埋込み工法	3 階段手すり	※樹脂製ハンドレール (φ40・2段・点字付) ・	4 フリーアクセスフロア	<p>施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>構法</th> <th>仕切り高さ</th> <th>適用地震時 水平力</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td>※パネル構法</td> <td></td> <td>・1.0G</td> <td>・タイルカーペット ・塩ビタイル</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、各仕上げ材の項目による。 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途工事) 配線用取り出し用開口 ※製造所の標準仕様</p>	構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材	※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル	5 トイレブース	仕様 ベーパーコア パーティクルボードt9.0裏打ち メラミン樹脂化粧板 金属等 アルミアルエッジ SUS頭つなぎ (ふた付) グラビティヒンジ SUS幅木 非常解放戸当たり 帽子掛け 表示錠付スライドボルト (非常開閉装置付)	6 ブラインド	<ul style="list-style-type: none"> 既存再使用する (養生方法:) 新設する <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">形式</th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">スラット</th> </tr> <tr> <th>材種</th> <th>幅 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※横型</td> <td rowspan="2">※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>※25 ・35</td> </tr> <tr> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦型</td> <td rowspan="2">・1本操作コード式 ・2本操作コード式</td> <td>・アルミスラット</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td>・クロススラット</td> <td>・100</td> </tr> </table>	形式	種類	スラット		材種	幅 (mm)	※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35	・アルミスラット	・80	・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80	・クロススラット	・100	7 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> 既存再利用する 新設する <p>材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 型式 ○片引き ・引分け (※暗幕用は、300mm以上の召合せの重掛けとする。)</p>																	
構法	仕切り高さ	適用地震時 水平力	表面仕上げ材																																																															
※パネル構法		・1.0G	・タイルカーペット ・塩ビタイル																																																															
形式	種類	スラット																																																																
		材種	幅 (mm)																																																															
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	※25 ・35																																																															
		・アルミスラット	・80																																																															
・縦型	・1本操作コード式 ・2本操作コード式	・アルミスラット	・80																																																															
		・クロススラット	・100																																																															

■ 工事概要

工 事 件 名	市立上溝中学校給食配膳室修繕			
1 . 工 事 場 所	相模原市中央区横山5-19-54			
2 . 建 物 概 要	建物名称	相模原市立上溝中学校		
	構造	E棟：鉄筋コンクリート造3階建 既存給食配膳室：鉄骨造 平屋建		
	延床面積	E棟新設配膳室：63.6㎡(改修面積) 既存給食配膳室：94.3㎡(延床面積)		
	敷地面積	約 57,322 m ²		
	用途地域	第一種中高層住居専用地域		
	埋蔵文化財包蔵地	該当	遺跡No. 125	防火指定
4 . 工 事 内 容	新規給食配膳室の整備 (E棟1階旧生徒会議室)			
	既存給食配膳室の整備 (既存給食配膳室棟)			



至 茅ヶ崎


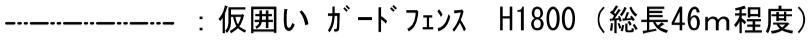
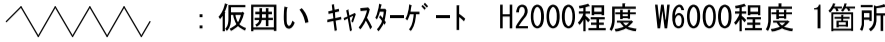
施設名称：市立上溝中学校
工事場所：相模原市中央区横山5-19-54




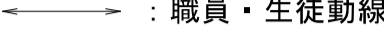

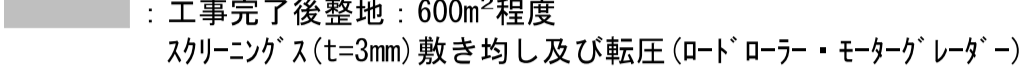
案内図 S=N. S.

配置図 S=N. S.

：工事範囲

概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富志正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号 A-02
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	案内図・配置図・工事概要		
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	縮尺	A1:N. S. A3:N. S.		

- 凡例：
-  : 工事対象範囲
 -  : 仮囲い ガードフェンス H1800 (総長46m程度)
 -  : 仮囲い キャスターゲート H2000程度 W6000程度 1箇所

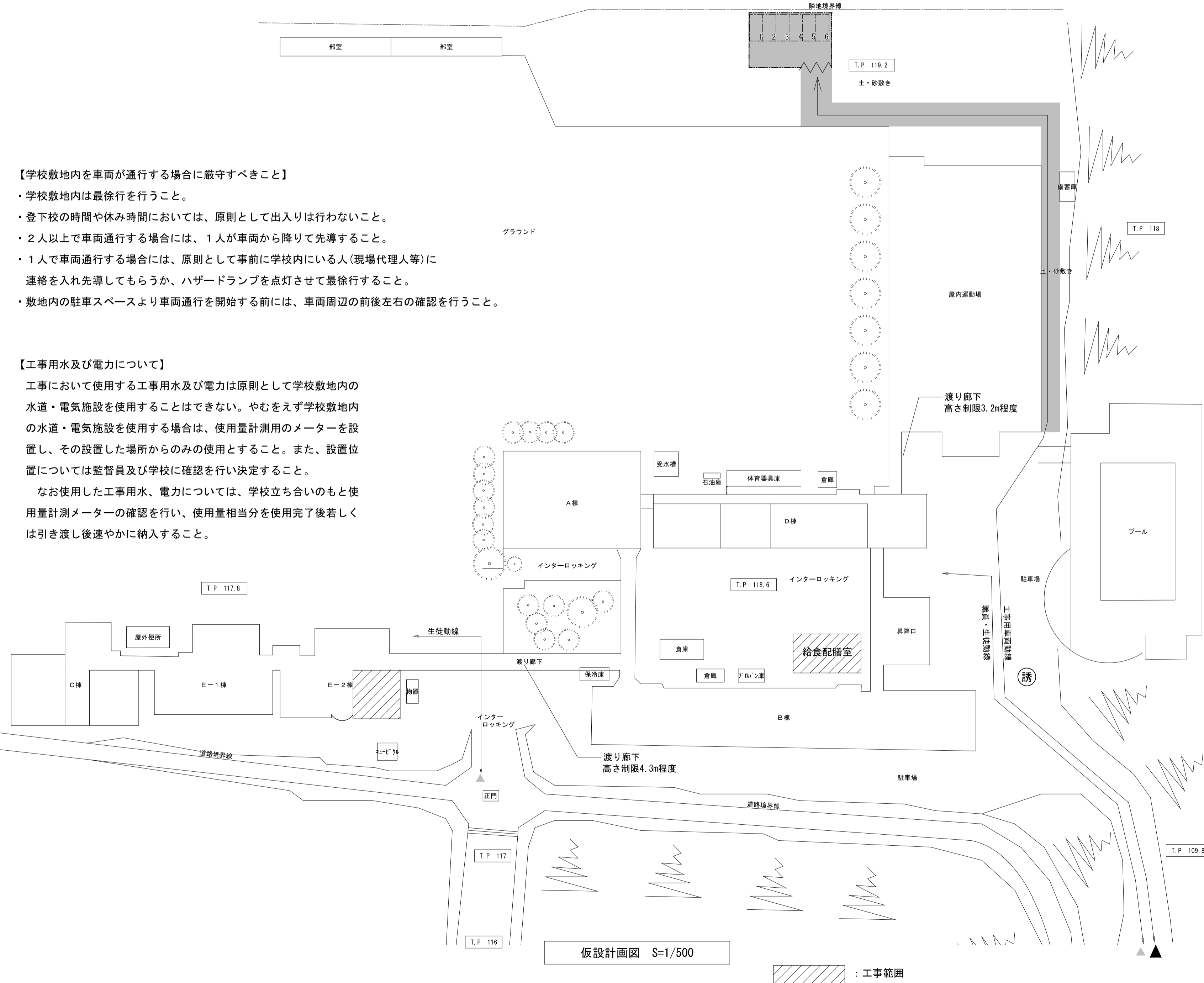
-  : 交通誘導員 (搬出入時: 6人程度)
 -  : 工事車両出入口
 -  : 職員・生徒出入口
 -  : 職員・生徒動線
 -  : 工事用車両動線
- ※ガードフェンス設置の際は、通路有効幅員W2.0m以上確保すること
-  : 工事完了後整地: 600m²程度
スクリーニングス(t=3mm)敷き均し及び転圧(ローラー・モーターレーダー)

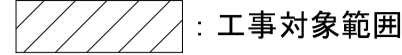
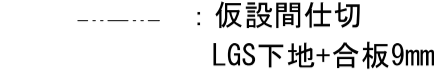
- 【学校敷地内を車両が通行する場合に厳守すべきこと】
- ・学校敷地内は最徐行を行うこと。
 - ・登下校の時間や休み時間においては、原則として出入りは行わないこと。
 - ・2人以上で車両通行する場合には、1人が車両から降りて先導すること。
 - ・1人で車両通行する場合には、原則として事前に学校内にいる人(現場代理人等)に連絡を入れ先導してもらうか、ハザードランプを点灯させて最徐行すること。
 - ・敷地内の駐車スペースより車両通行を開始する前には、車両周辺の前後左右の確認を行うこと。

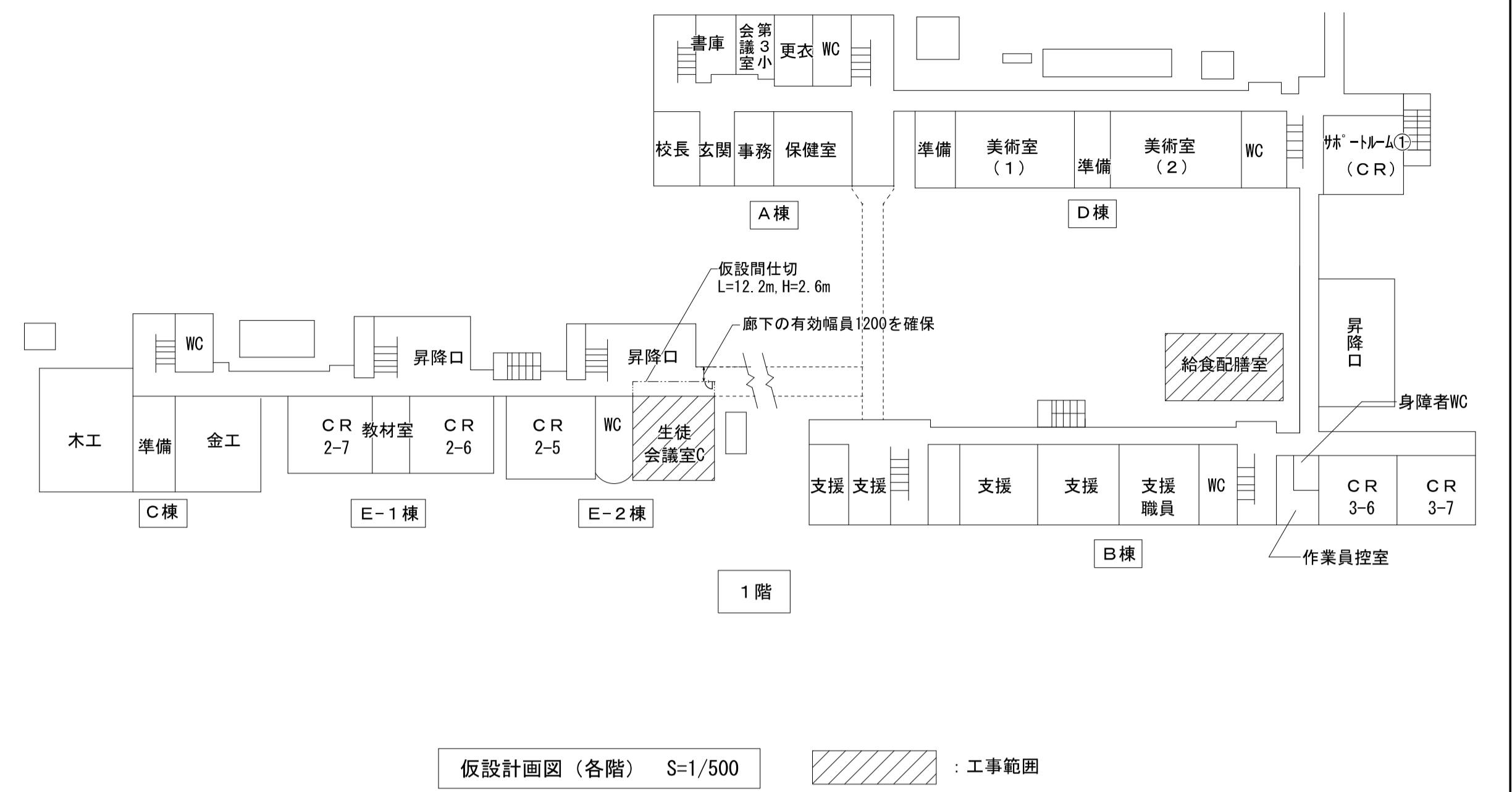
【工事用水及び電力について】

工事に於いて使用する工事用水及び電力は原則として学校敷地内の水道・電気施設を使用することはできない。やむをえず学校敷地内の水道・電気施設を使用する場合は、使用量計測用のメーターを設置し、その設置した場所からのみの使用とすること。また、設置位置については監督員及び学校に確認を行い決定すること。

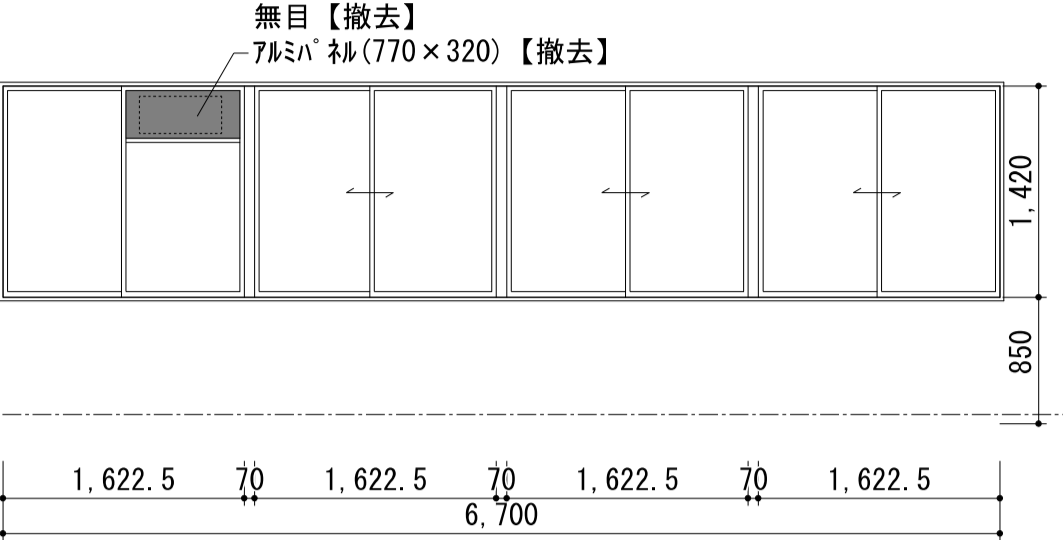
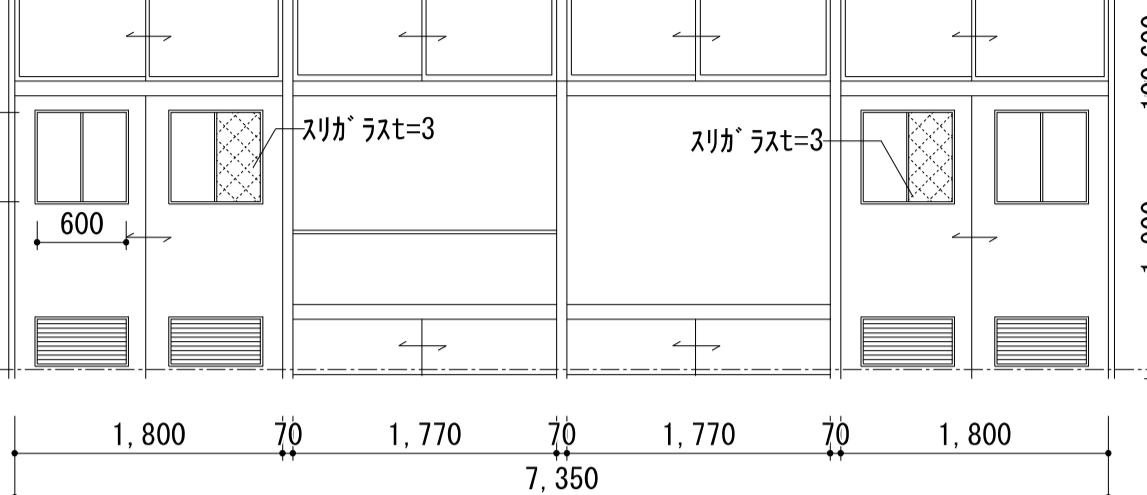
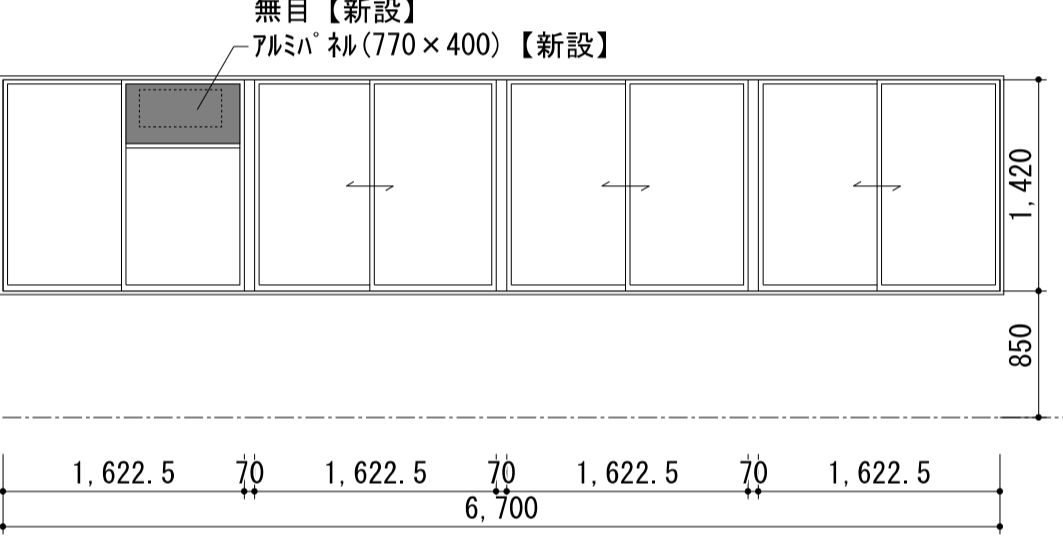
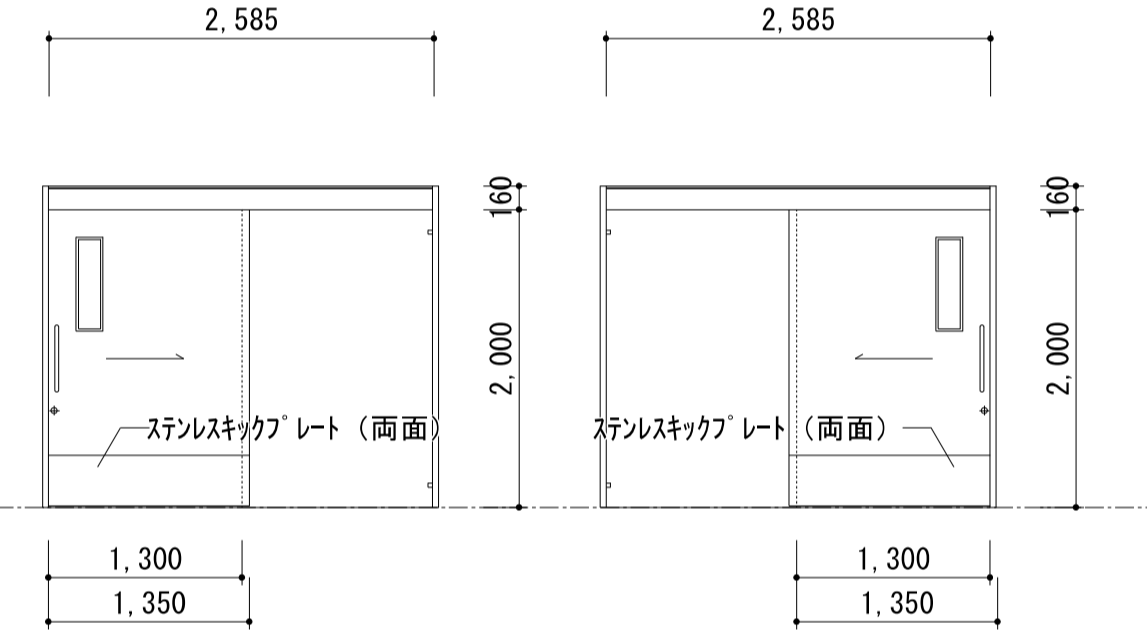
なお使用した工事用水、電力については、学校立ち合いのもと使用量計測メーターの確認を行い、使用量相当分を使用完了後若しくは引き渡し後速やかに納入すること。



- 凡例：
-  : 工事対象範囲
 -  : 仮設間仕切 LGS下地+合板9mm

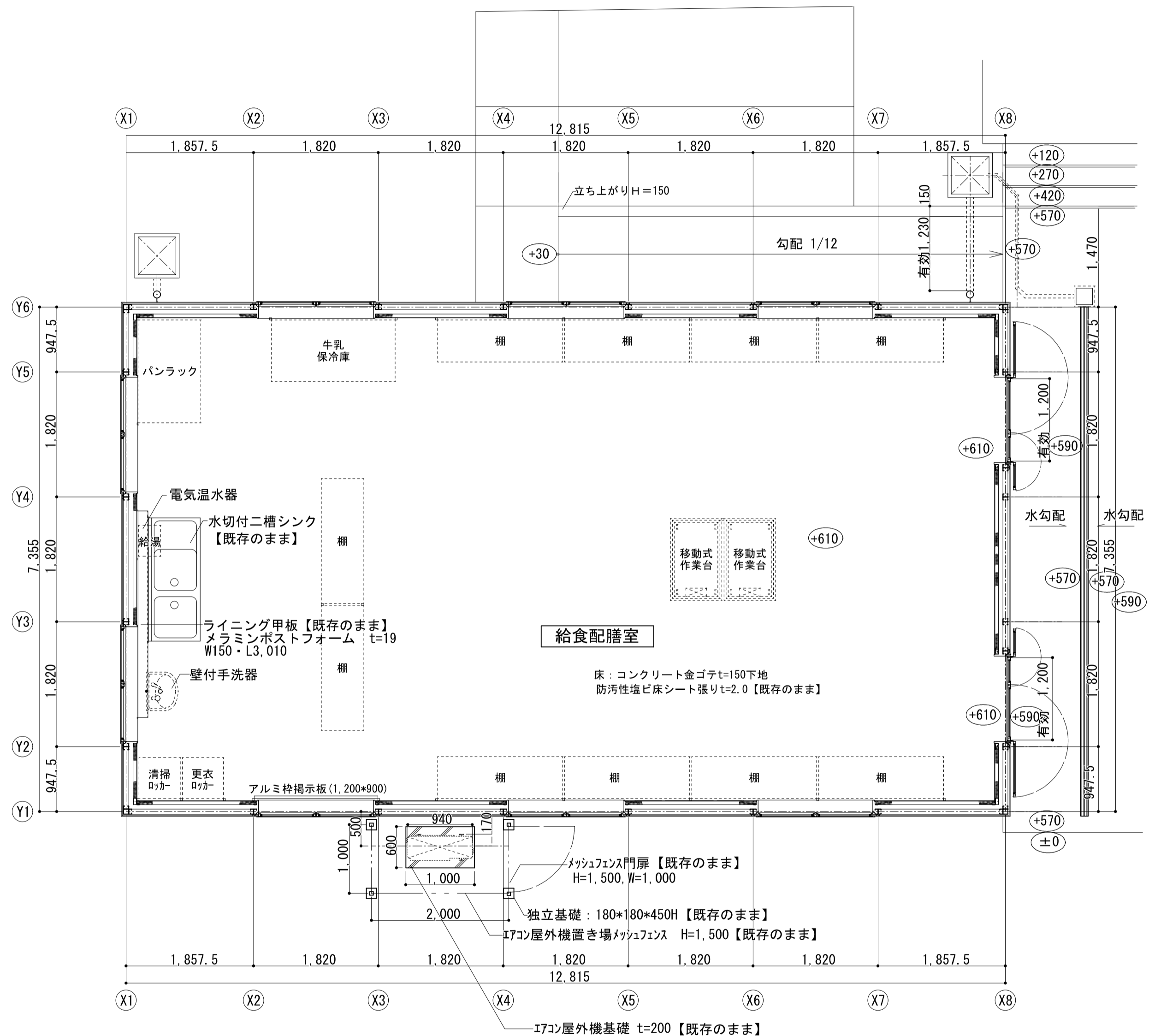
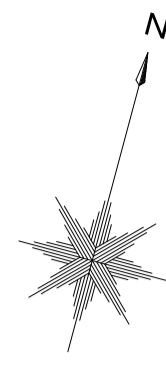


概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21 富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号	A-O 3	
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	仮設計画図 (参考図)		縮尺		A1:1/500 A3:1/1000
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸						

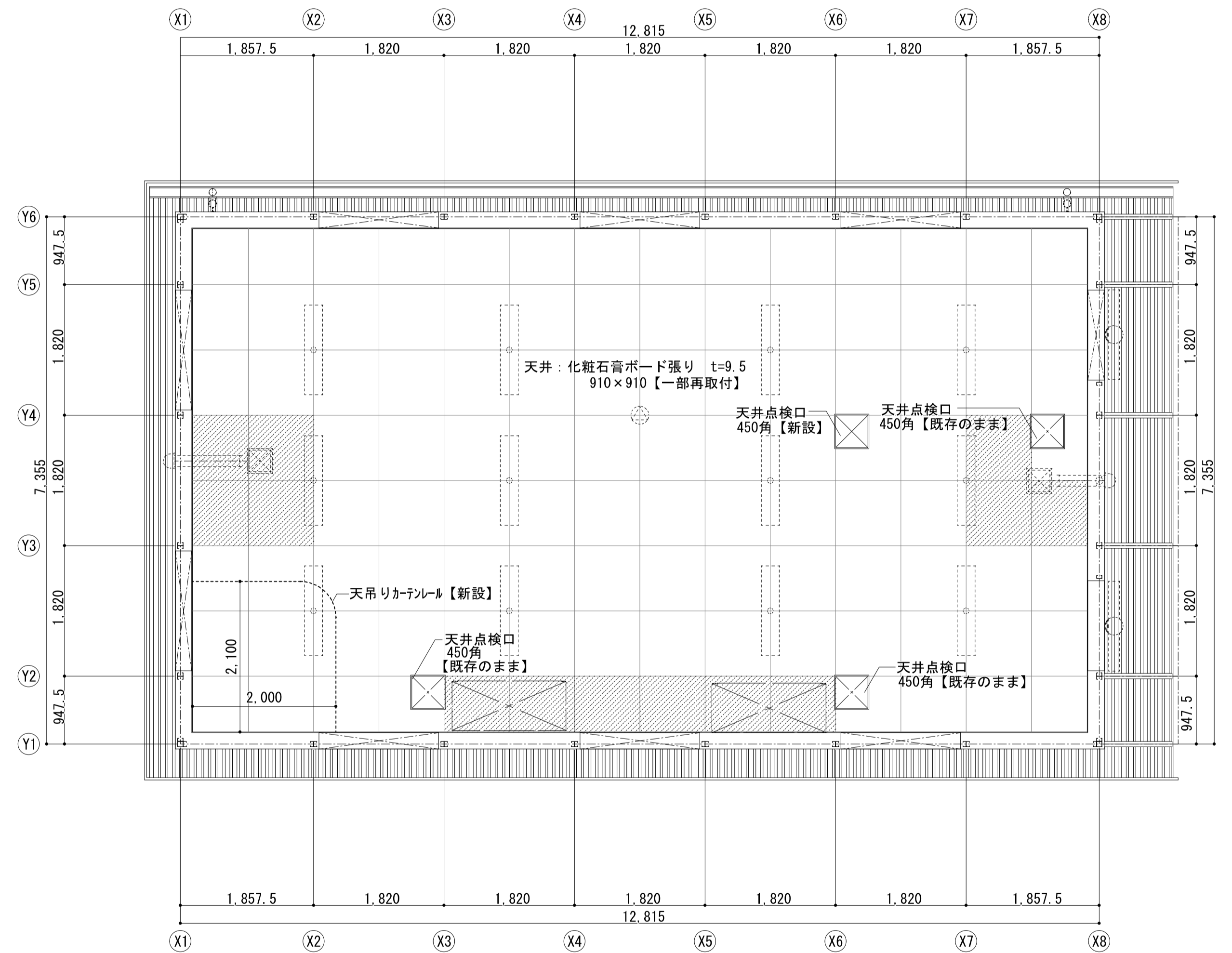
符号・名称	AW/E 引違いアルミサッシ			AP/E アルミパネーション					
	階	E棟生徒会議室	合計	階	E棟生徒会議室	合計			
	数量	1	1	数量	1	1			
形状・寸法	E棟 【ガラス撤去】 			E棟 【撤去】 					
使用場所	E棟1階生徒会議室			E棟1階生徒会議室					
仕上・見込	アルマイト・70			ホリシタ化成板t=4, 枠7mm・70					
ガラス	学校強化透明ガラスt=4 【撤去】			透明ガラスt=3 【撤去】 スリガラスt=3 【撤去】					
金物	付属金物一式【既存のまま】								
備考									
符号・名称	AW/E 引違いアルミサッシ			LSD/E 軽量鋼製外付け引戸					
	階	E棟配膳室	合計	階	E棟配膳室	合計			
	数量	1	1	数量	2	2			
形状・寸法	E棟 【ガラス新設】 			E棟 【新設(枠共)】 					
使用場所	E棟1階配膳室			E棟配膳室					
仕上・見込	アルマイト・70			垂鉛付鋼板・40					
ガラス	強化型板ガラスt=4 【新設】			強化透明ガラスt=4 【新設】					
金物	付属金物一式【既存のまま】			SUS引手、自動閉鎖機構、シリンダ錠(内側シリンダ、外側シリンダ)、油圧制御装置、付属金物一式、ストッパー付き(全開時)					
備考									
符号・名称									
形状・寸法									
使用場所									
仕上・見込									
ガラス									
金物									
備考									
摘要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号
	R8.03					〒252-0216 相模原市中央区清瀬6-16-21 富士正第五ビル201	1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号		A-O6
						1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号		
							【既存・改修】建具表		縮尺 A1:1/50 A3:1/100

有限会社 北山建築設計事務所
 KITAYAMA Architectural Engineering Office
 TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344

工事名称 市立上溝中学校給食配膳室修繕
 図面名称 【既存・改修】建具表
 縮尺 A1:1/50
 A3:1/100
 図面番号 A-O6



給食配膳室 平面詳細図 S=1/50

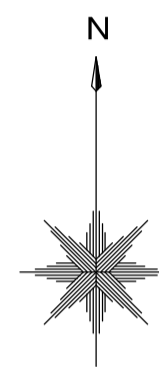


給食配膳室 天井伏図 S=1/50

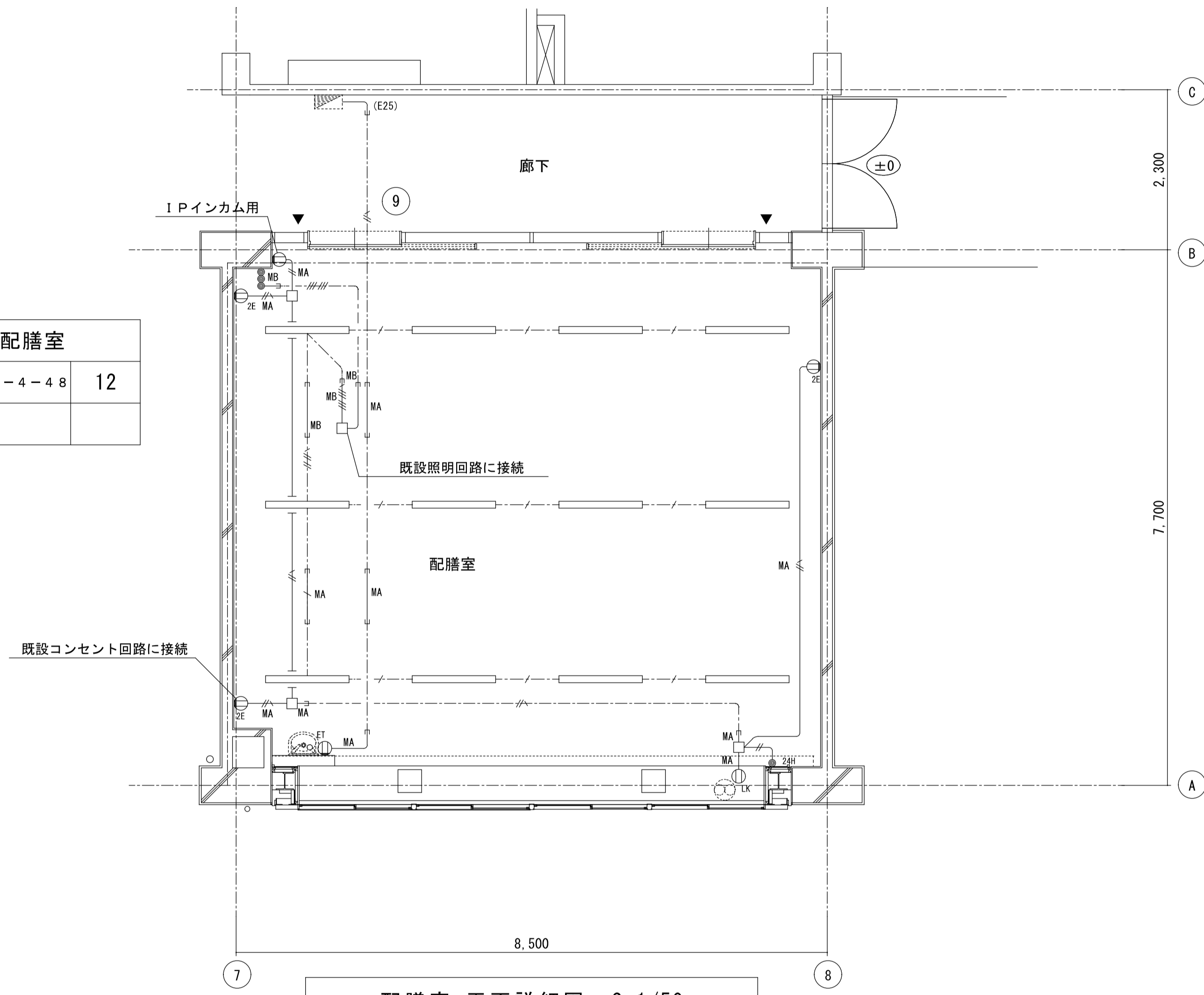
：天井仕上再取付範囲(下地既存のまま)

給食配膳室 仕上表【改修】

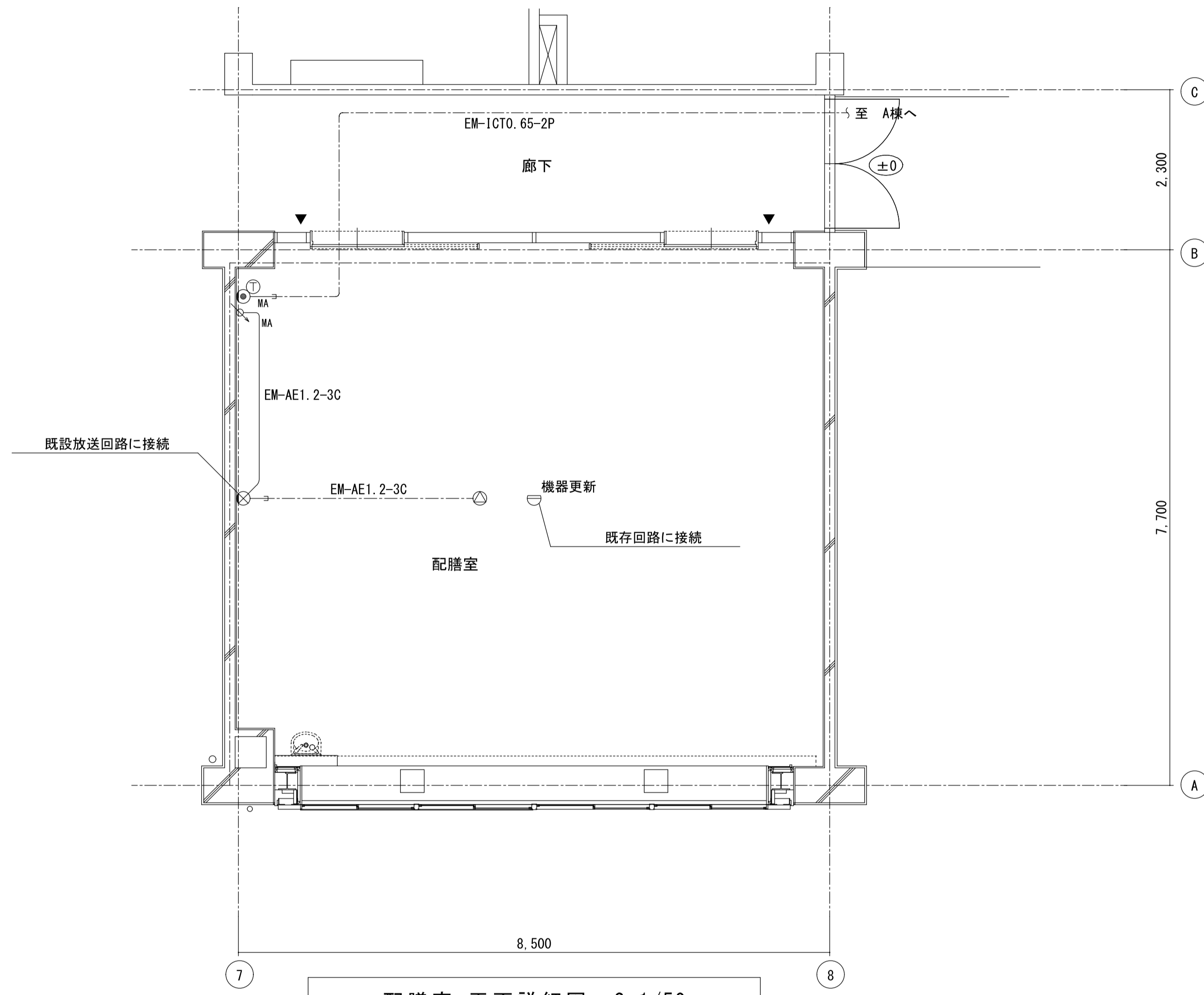
天井	化粧石膏ボード張りt=9.5 910×910【一部再取付】(LGS下地既存のまま)
廻縁	塩ビ廻り縁【既存のまま】
壁	LGS下地(50形), ケイ酸カルシウム板t=6 EP-G, 裏面ｸﾞﾗｽｸﾞｰﾄﾞt=50【既存のまま】 目地処理:塩ビｼﾞｮｲﾝﾄ【既存のまま】
腰壁	ライニング: LGS下地(65形), 針葉樹合板t=15の上 化粧ケイ酸カルシウム板t=6接着張り【既存のまま】
巾木	ソｯﾄ巾木 H100【既存のまま】
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃﾞ下地, 防汚性塩ビ床ｼｰﾄ張りt=2.0【既存のまま】



配膳室	
LSS-9-4-48	12



配膳室 平面詳細図 S=1/50



配膳室 平面詳細図 S=1/50

凡例

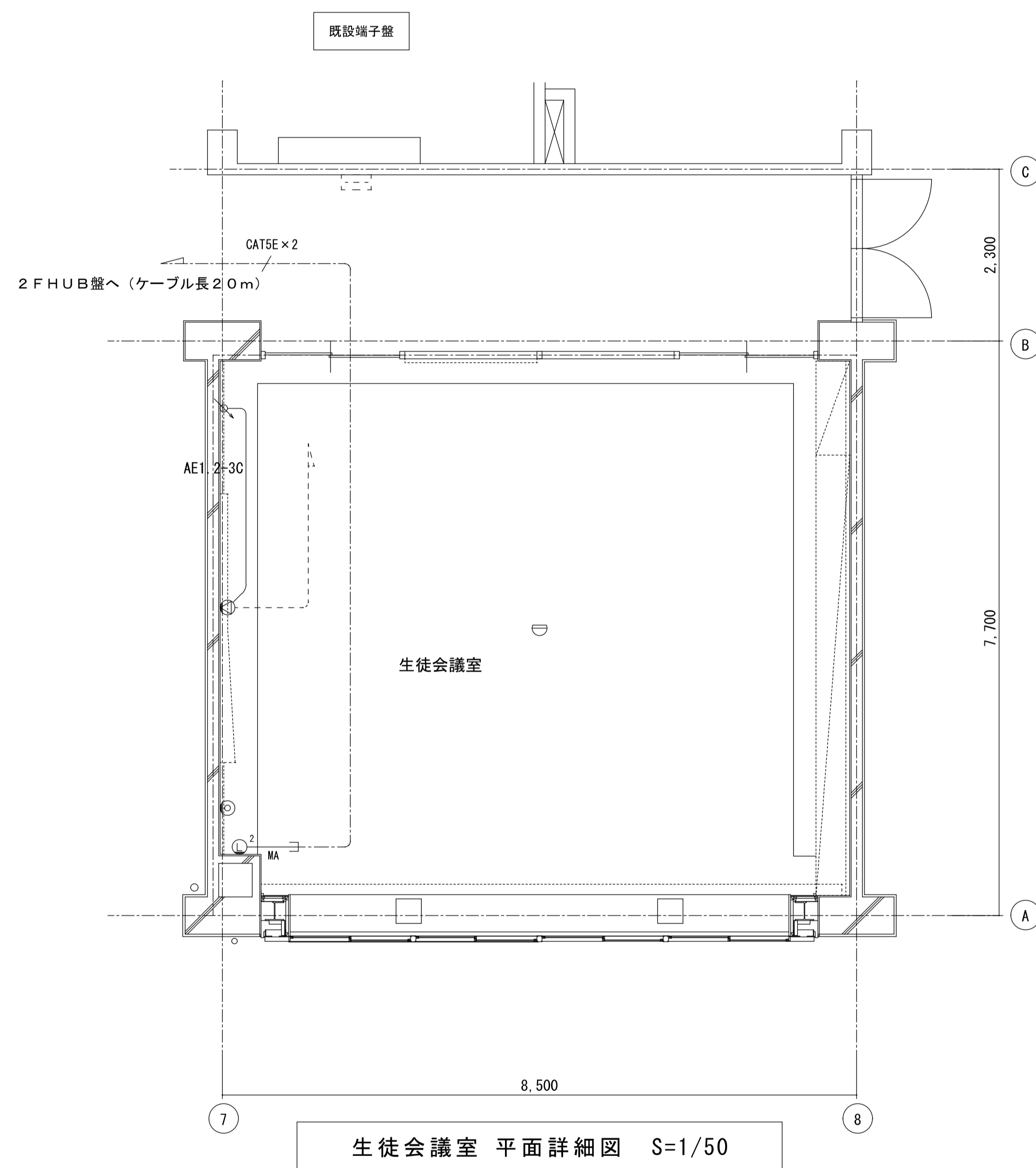
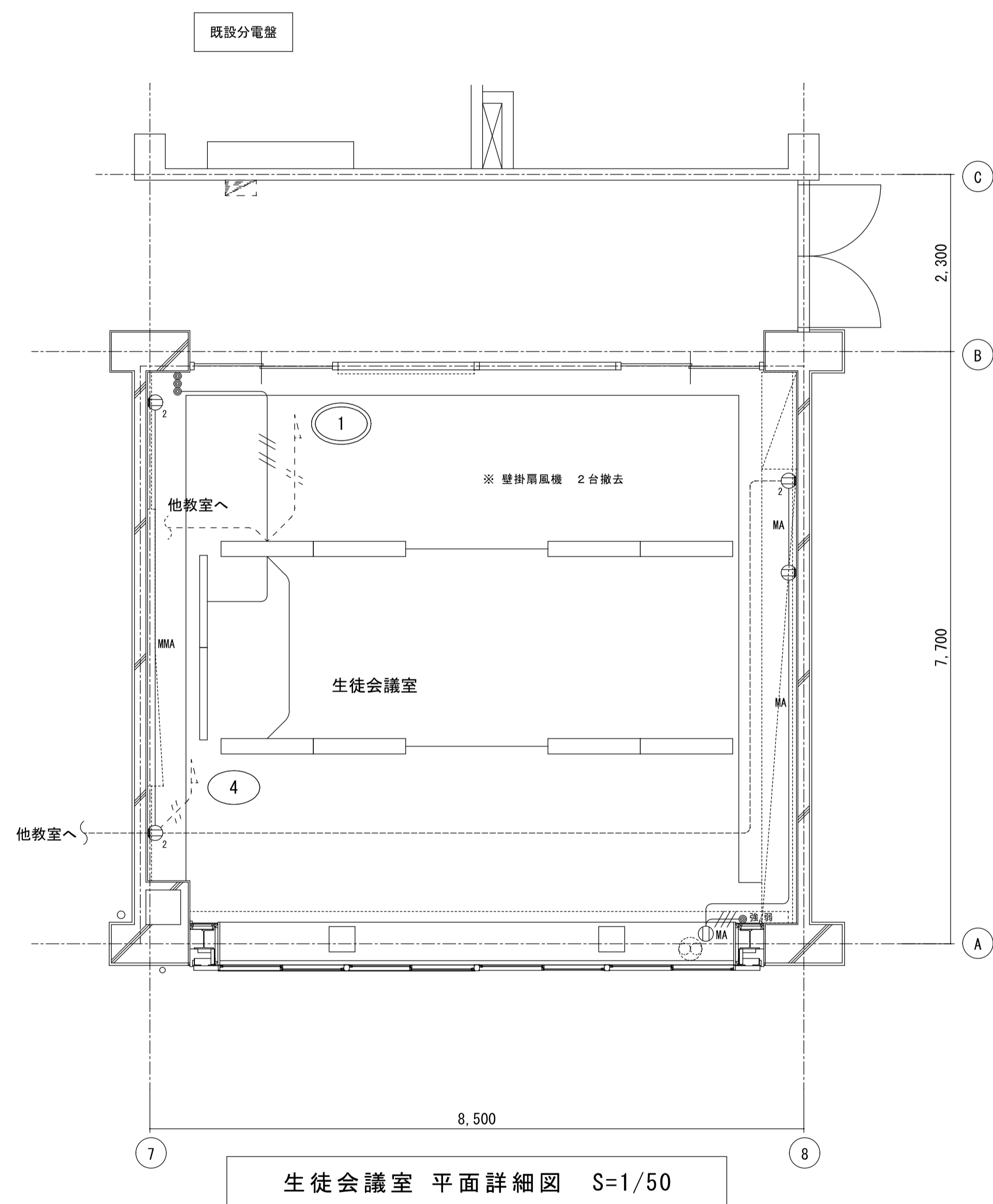
記号	名称
■	分電盤
●	埋込スイッチ 1P × 1
①	埋込コンセント 2P15A × 1
②E	埋込コンセント 2P15A (E付) × 2
①E	埋込コンセント 2P15A (E付) × 1 接地端子付
①LK	埋込コンセント 2P15A × 1 (抜け止め)
● 24H	24時間スイッチ (支給品)
□	天井付照明
⊗	天井埋込スピーカー
⊗	アッチネーター
⊗	壁付電話用モジュラージャック6極4芯
⊗	多機能電話機
⊗	情報モジュラージャック (壁付)
⊗E	1Pインカム
⊗	スポット感知器 差動式2種 露出型
⊗	ブルボックス (屋外はSUS製 傍記はサイズ)

注記

- 特記なき配管配線は下記による。
 (隠蔽) (露出) (屋外)
 EM-EEF1.6-2C (PF16) (E19) (G16)
 EM-EEF1.6-3C (PF22) (E25) (G22)
 EM-EEF1.6-3C(1E) (PF22) (E25) (G22)
 EM-EEF1.6-2C × 2 (PF22) (E25) (G22)
 EM-EEF1.6-2C × 2 (1E) (PF22) (E25) (G22)
 EM-EEF1.6-2C+3C (PF22) (E25) (G22)
 EM-EEF1.6-2C+3C(1E) (PF22) (E25) (G22)
 EM-EEF1.6-3C × 2 (PF22) (E25) (G22)
 EM-EEF1.6-2C × 2+3C (PF22) (E25) (G22)
 EM-EEF1.6-2C+3C × 3 (PF22) (E25) (G22)
 EM-EEF2.0-3C(1E) (PF22) (E25) (G22)
 コロガシ 露出管内
 隠蔽管内 隠蔽管内
 隠蔽管内 隠蔽管内
- 図中特記なき器具・配管配線は新設とする。

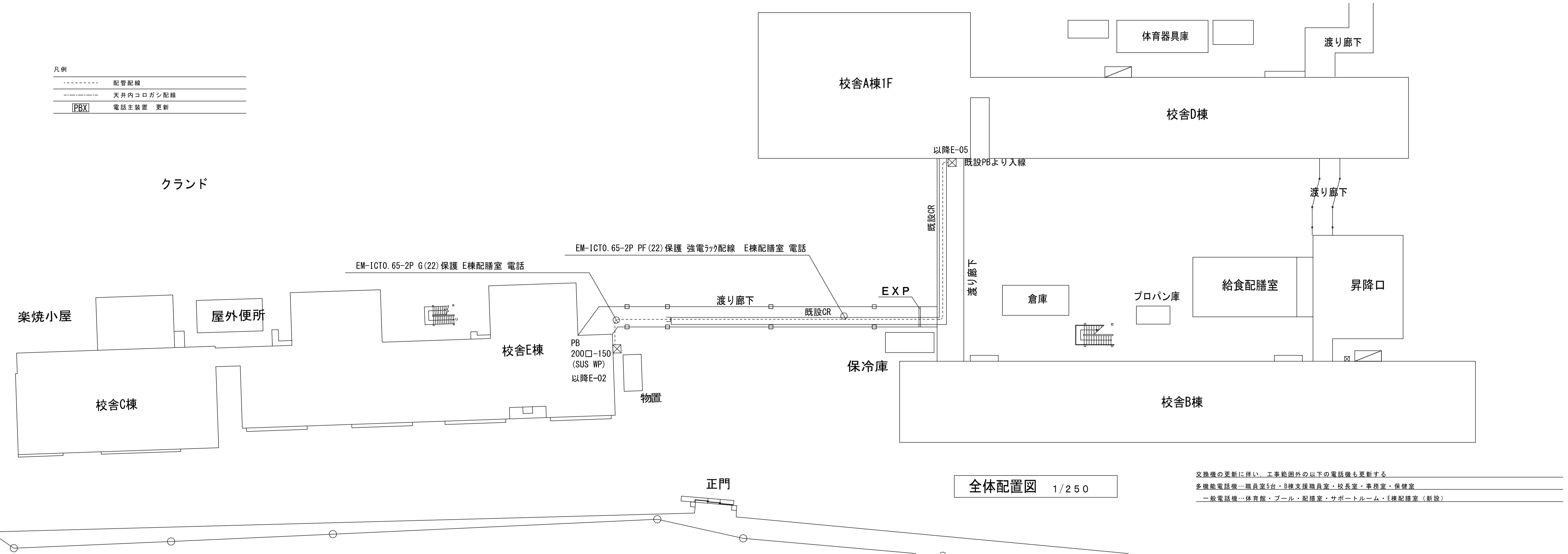
概要	設計年月日 R8.01	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201 1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号 1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	工事名称 市立上溝中学校給食配膳室修繕 図面名称 E棟配膳室電気設備図 (改修)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 E-02
----	----------------	-------	----	----	----	--	--	---	---------------------------	--------------

生徒会議室	
富士型FL40W-2	8
吊下黒板灯FL40W-1	2



概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号 E-03	
	R8.01						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	E棟配膳室(旧生徒会室)	縮尺		A1:1/50
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸		電気設備平面図(撤去)	A3:1/100		

凡例	-----	配管配線
	-----	天井内コロガシ配線
[PBX]	-----	電話主装置 更新



概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号 E-04
	R8.01						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	構内配電線路図(改修)		
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	縮尺	A1:1/250 A3:1/500		

既存

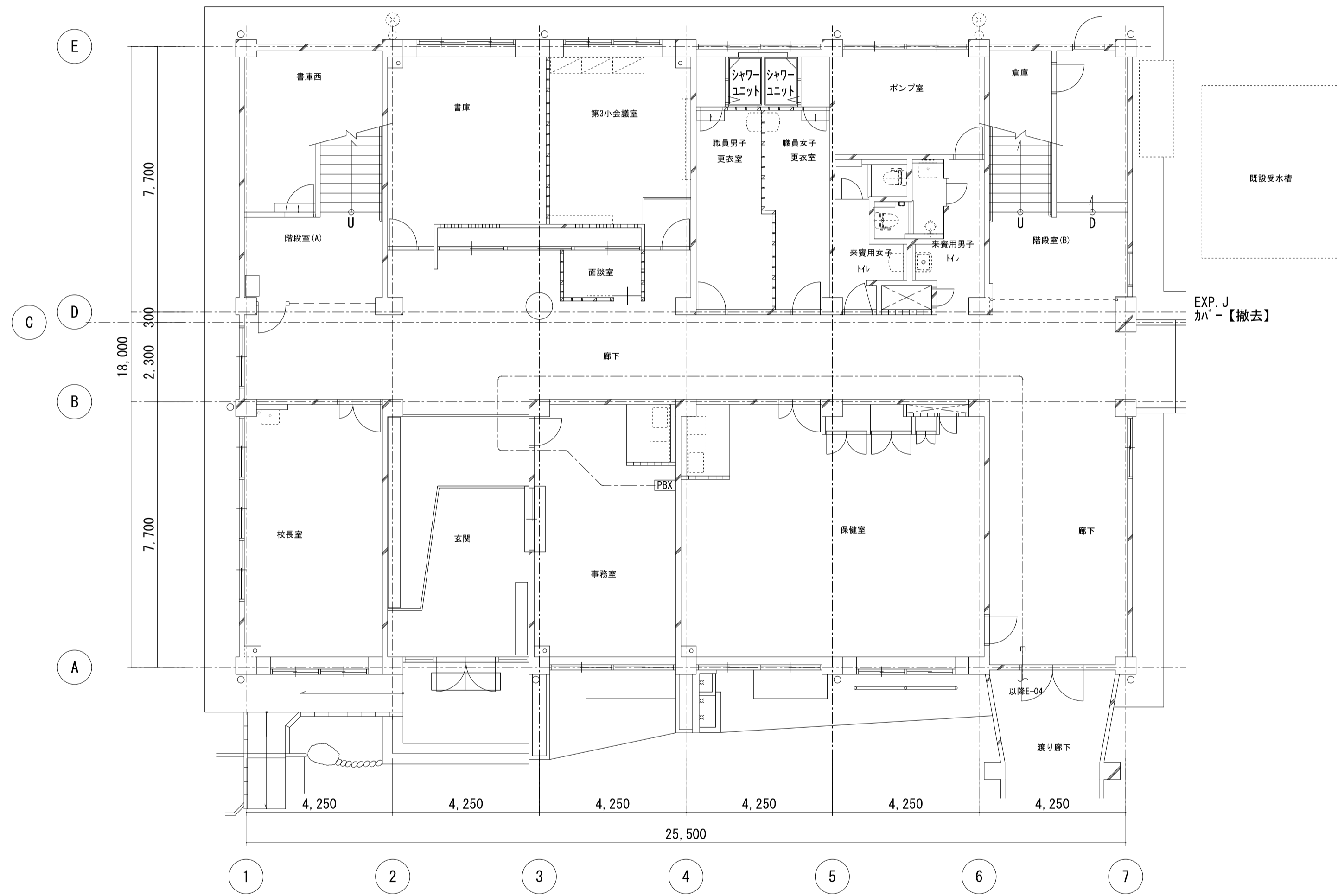
注 記

- 1. 特記なき配管配線は下記による。
(電話設備)

---/--- ICT10.65-2Pr 天井コロガシ

凡 例

記 号	名 称
[PBX]	電話主装置 更新



1階平面図 S=1/100

概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清瀬6-16-21富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号 E-05
	R8.01						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	弱電設備 1階平面図		
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	縮尺	A1:1/100 A3:1/200		

電話交換機仕様書

1. 一般事項

- (1) 本工事は、有線電気通信法、電気通信事業法に定める端末設備等規則に基づき、入念かつ誠実に施工すること。
- (2) 本工事に必要な日本電信電話(株)等の申請手続きは、全て請負者が代行し、費用は請負者の負担とする。
- (3) 本工事の完了は据付工事完了後、係員の立会検査合格後引渡しするものとする。

6) 内線線路条件

アナログ : ループ抵抗 : 400Ω以下
接続距離 : 880m

デジタル : ループ抵抗 : 85Ω以下
接続距離 : 750m

2. 機器構成

- (1) 主装置本体 1 式
(2) 電源装置 1 式
(3) 関連機器 1 式

7) その他機能

- ・留守番電話機能
- ・ナンバーディスプレイ対応
- ・停電保障30分

3. 機器仕様

(1) 主装置本体

1) 概要

本交換機は蓄積プログラム制御方式を採用したデジタル式電子交換機であり、制御部、スイッチ部、加入者回路部、トランク回路部等により構成され、日本電信電話(株)等の局線を収納して、構内交換機として運用するものである。

2) 方式

- 通話路 : PCM時分割一段スイッチ
制御方式 : 蓄積プログラム制御方式 64bit
冗長構成 : 一重化
中継方式 : 分散応答、追加ダイヤルイン方式、直結式応答方式
NTTダイヤルイン方式、個別着信方式

(2) 電源装置

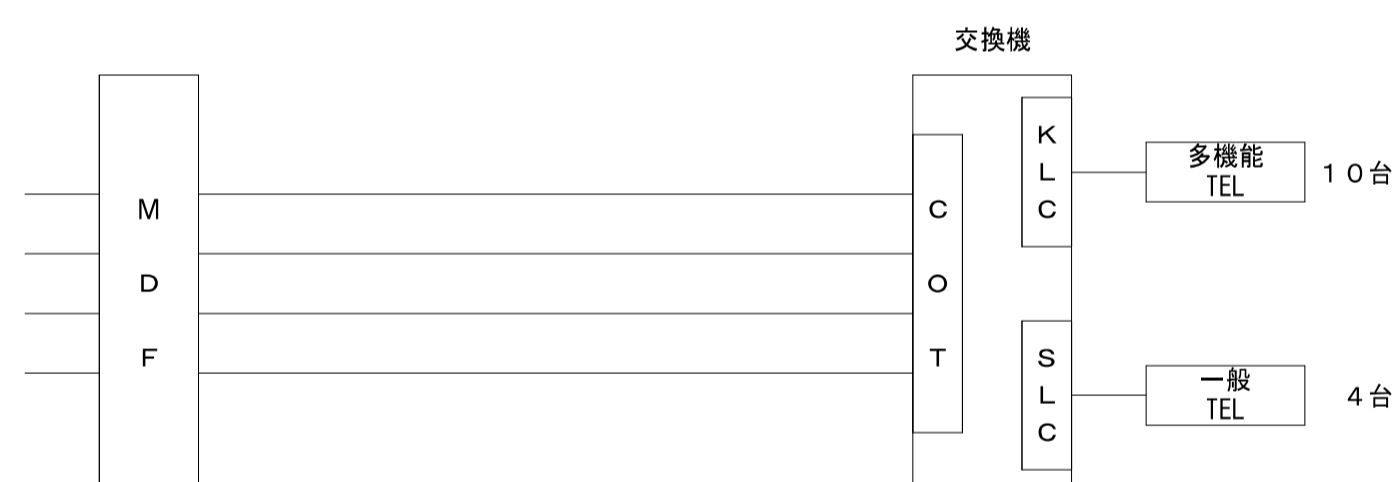
電源装置は、整流器と蓄電池によって構成され、常時交換機に対しての規定の電力を供給するものとする。
又、交流停電時には、実装収容回線内で蓄電池により3時間(実装収容回線数により異なる)の直流電力を保証するものとする。

(3) 関連機器

- 2.4ボタンデジタル多機能電話機 9台(職員室(5台)・事務室・校長室・保健室・支援職員室機器更新)
アナログ一般電話機 5台(工事エリア外の体育館・プール・サポーターーム・配膳室・E棟新設配膳室)

3) 収納回線

	実装	容量	
外線	アナログ局線	5回線	最大 82ポート
内線	アナログ内線	5回線	光電話GW(別途既設品)
	デジタル内線	10回線	



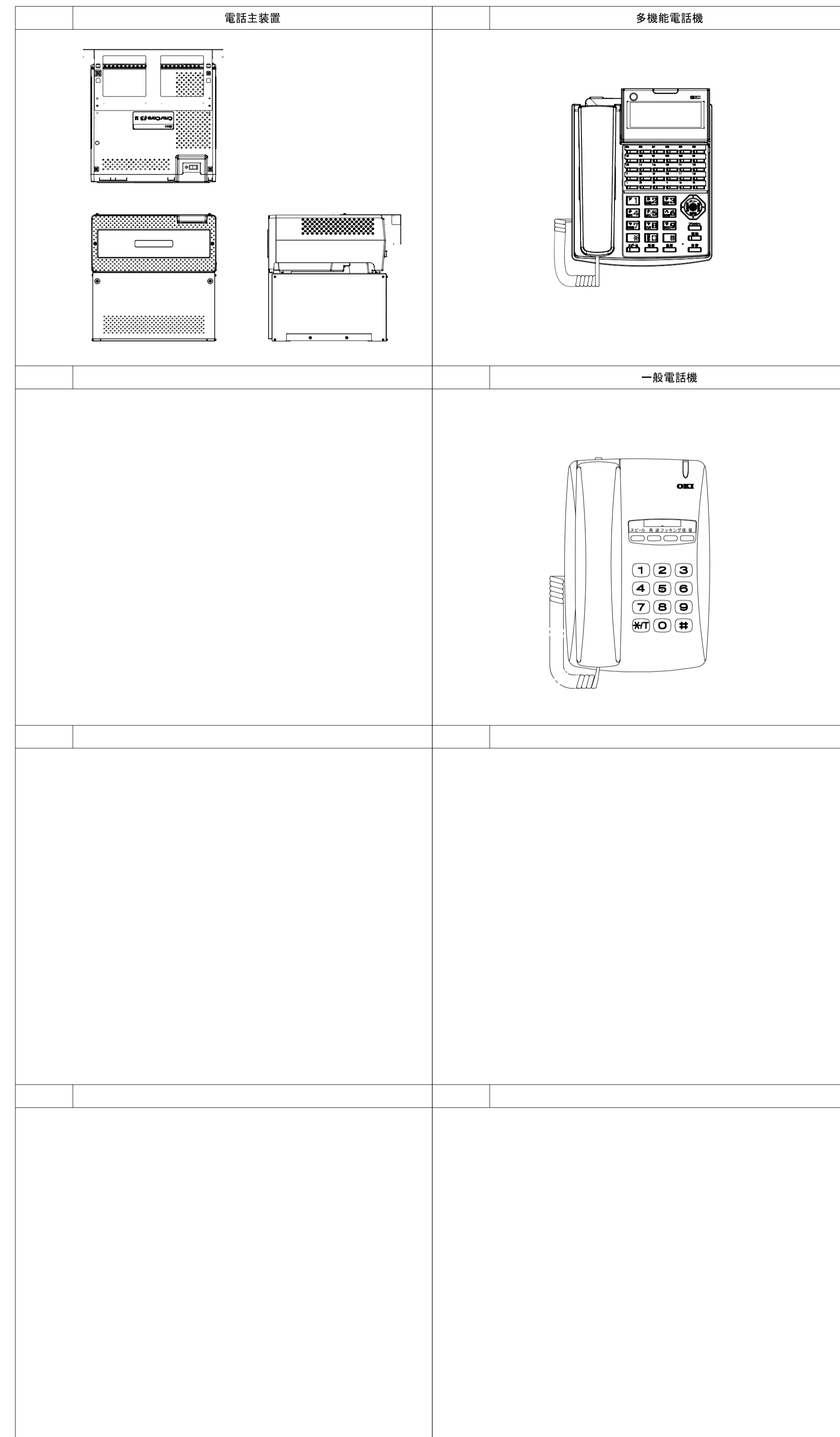
4) 番号計画

- 内線 : 4桁
局線発信 : 1桁(標準"0")
特殊機能 : 1桁~3桁

5) 使用条件

- 空調設備 : 一般事務所並
周囲温度 : 0~40℃
相対湿度 : 20~85%(結露しないこと)

機器姿図



概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号 E-06
	R8.01						図面名称	電話設備仕様書・姿図(改修)	縮尺 A1:NO SCALE A3:NO SCALE	

特記事項							
第2編 共通工事／第2章 配管工事							
(2.2.9.2)	<ul style="list-style-type: none"> 合成ゴム製鋼製フランジ付きで、補強材を挿入した合成ゴム製とし、十分な可とう性、対候性、耐熱性及び耐圧強度を有するもので、その全長は次による。 <ul style="list-style-type: none"> 呼び径40以下は300mm以上とする。 呼び径50以上80以下は500mm以上とする。 呼び径100以上は700mm以上とする。 						
(2.2.27)	<p>3 スリーブ</p> <p>(1)スリーブ径は、原則として管の管径（保温されているものにあつては保温厚さを含む）より40mm程度大きなものとする。</p> <p>(2)スリーブは、下記の表によるものとする。</p> <p>(a)地中部分等水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは塩化ビニル管（VU）とする。</p> <p>(b)柱及び梁以外の個所で、開口補強が不要であり、かつスリーブ径が200mm以下の部分は、紙製型枠としてもよい。紙製型枠を用いる場合は、変形防止の処置を講じ、かつ、配管施工前に型枠を必ず取り除く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>仕 様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>亜鉛鉄板製</td> <td>径が200mm以下のものは厚さ0.4mm以上、径が200mmを越えるもの（上限350mm）は厚さ0.6mm以上で、原則として筒型の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。</td> </tr> <tr> <td>つば付き鋼管製</td> <td>JIS G3452（配管用炭素鋼鋼管）の黒管に、厚さ6mm以上、つば幅50mm以上の鋼板を全周片側溶接後、汚れ、油類を除去し、内面及び端面にさび止め塗装をしたものとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(c)上記以外の鋼管スリーブは、白管とする。</p> <p>(3)スリーブ、箱入れその他、他工事との取り合いは、施工に支障来さない時期までに必要な位置、大きさなどを明示し関係受注者と調整をはかる。</p> <p>4 雑材料</p> <p>(1)インサート金物のM10用は、埋込深さ40mmの釘付き重設備用スチール製インサート（スパイカー）を使用してもよい。</p> <p>(2)あと施工アンカーボルトを設置する場合は、有資格者又はアンカー製造者が行う講習会受講者により施工すること。</p> <p>(3)改修工事における配管用の穴あけ及び溝はつりは、必要に応じ行うこと。</p> <p>(4)既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>(5)改修工事において既存のインサート及びアンカーボルトは原則として使用しない。やむを得ず既存のインサート及びアンカーボルトを再使用する場合は引張試験を実施する。試験の内容は監督員と協議による。</p> <p>3. 計器その他</p> <p>(2.3.1)</p> <p>下記によるほか標準仕様書による。</p> <p>圧力計及び連成計は、JIS B 7505-1「アネロイド型圧力計—第1部：ブルドン管圧力計」によるものとし、コック付きとするほか、次による。</p> <p>(7) 蒸気用は、サイホン管付きとする。</p> <p>(4) 水用で凍結防止が必要な場合のコックは、水抜き可能形とする。</p> <p>(9) 目盛には使用圧力を示す赤針（設置針）を付け、最高目盛は使用圧力の1.5～3倍、連成計の真空側目盛は0.1MPa とする。</p> <p>(1) 目盛板の外径は100mm以上とする。</p> <p>下記によるほか標準仕様書による。</p> <p>4. 勾配、吊り及び支持</p> <p>(2.6.1～2)</p> <p>PS内立て管の支持は、標準仕様書（表2.2.21立て管の固定（床）及び振れ止め箇所）の他に、原則として、床バンドにて支持する。</p> <p>5. 埋設配管</p> <p>(2.7.1～3)</p> <p>一般事項</p> <p>(1)屋外埋設管は、屋外排水管を除き分岐及び曲り部（図示表示箇所）には地中埋設標を設置する。尚、地中埋設標と管との接続はしない。使用区分は、舗装部分にあつてはコンクリート製又は鉄製とし、その他の部分はコンクリート製とする。但し、都市ガス配管についてはガス供給会社標準品とすることが出来る。</p> <p>(2)埋設標示テープ（排水管は除く）等を埋設する。</p> <p>(3)コンクリート管以外の管を地中埋設とする場合は、管および被膜樹脂に損傷を与えないよう再生コンクリート砂で管の周囲（管の上下各100mm）を埋戻す</p> <p>(4)屋外排水管の埋設部は、呼び径300以下の場合根切り底を100mm程度、呼び径300を越える場合は根切り底を150mm程度深く根切り、再生コンクリート砂をやりかたにならい敷き込み、突き固めた後、管をなじみ良く敷設する。</p>	材 料	仕 様	亜鉛鉄板製	径が200mm以下のものは厚さ0.4mm以上、径が200mmを越えるもの（上限350mm）は厚さ0.6mm以上で、原則として筒型の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。	つば付き鋼管製	JIS G3452（配管用炭素鋼鋼管）の黒管に、厚さ6mm以上、つば幅50mm以上の鋼板を全周片側溶接後、汚れ、油類を除去し、内面及び端面にさび止め塗装をしたものとする。
材 料	仕 様						
亜鉛鉄板製	径が200mm以下のものは厚さ0.4mm以上、径が200mmを越えるもの（上限350mm）は厚さ0.6mm以上で、原則として筒型の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。						
つば付き鋼管製	JIS G3452（配管用炭素鋼鋼管）の黒管に、厚さ6mm以上、つば幅50mm以上の鋼板を全周片側溶接後、汚れ、油類を除去し、内面及び端面にさび止め塗装をしたものとする。						

特記事項	
第2編 共通工事／第3章 保温塗装及び防錆工事	
1. 保温工事 (3.1.1)	別表1によるほか標準仕様書による
2. 塗装及び防錆工事 (3.2.1～2)	標準仕様書による
第2編 共通工事／第4章 関連工事	
1. 仮設工事 (4.1.1)	<p>下記によるほか標準仕様書による。</p> <p>一般事項</p> <p>工事現場の適切な位置に監督員の指示に従い、工事名称発注者等を示す標示板、お願い板、その他を工事着手時に設け、写真を提出する。</p> <p>下記によるほか標準仕様書による。</p> <p>一般事項</p> <p>(1) 埋め戻し及び盛土</p> <p>埋め戻し材 <ul style="list-style-type: none"> 発生土 再生コンクリート砂 根切り土の中の良質土（一層仕上げ30cmごと） （一層仕上げ cmごと） </p> <p>(2) 残土処分</p> <p>場内敷き均し <ul style="list-style-type: none"> 指定処分（現場説明書(3-(5))による） </p> <p>下記によるほか標準仕様書による。</p>
2. 土工事 (4.2.1)	<p>一般事項</p> <p>(1) 砕石地業</p> <p>切込砕石 0～40mm <ul style="list-style-type: none"> 再生砕石 0～40mm </p> <p>割栗石 0～150mm</p> <p>下記によるほか標準仕様書による。</p> <p>一般事項</p> <p>(1) コンクリート</p> <ul style="list-style-type: none"> J I S 表示許可工場で製造されたコンクリート J I S 表示許可工場以外で製造されたコンクリート 現場練りコンクリート <p>(a) 強度指定</p> <ul style="list-style-type: none"> 捨てコンクリート Fc=18N/mm2 構造物以外 Fc=18N/mm2 構造物 Fc=21N/mm2 <p>構造体強度補正・有（・3N/mm2・6N/mm2）・無</p> <p>(b) 品質の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査書 納品伝票 <p>(c) 強度の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う（・テストピース ・シュミットハンマー） 行わない <p>(2) 鉄筋</p> <p>規格品を使用すること</p> <p>標準仕様書による。</p> <p>機器類のコンクリート基礎面は、下記にて仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 金ゴテ直挿え その他（ ）
3. 地業工事 (4.3.1)	
4. コンクリート工事 (4.4.1)	
5. 左官工事 (4.5.1)	
第3編 空気調和設備工事	
1. 機器設備工事	<p>1 機器類の型番は、便宜上参考型番とする。また、特記を除き、メーカー標準品とする。</p> <p>2 天井埋込換気扇は、2点以上の支持をとること。</p> <p>3 天吊屋内機器の支持は、原則、吊用ボルトを使用し振れ止め施工を行う。また、これら以外はアングル等の支持とする。ただし、吊りボルト長さが25cm以内の場合は振れ止めは不要とする。</p> <p>4 機器固定はダブルナットとする。</p> <p>1 原則として、長方形ダクトの板厚、接合用材料及び補強等は、標準仕様書による。また、接合法は下記による。</p> <p>コーナー材工法（ ・ 共板フランジ工法 ・ スライドフランジ工法）</p> <p>但し、長辺が1,500mmを超える又は厨房排気ダクトはアングルフランジ工法とする。</p> <p>2 キャンバス継手はアルミ箔付き繊維系クロス二重製とし、内部にピアノ線を挿入したものとする。</p> <p>3 空気調和機、サブライチャンパー、レタンチャンパーには、点検口を設ける。尚、点検口の扉は、サブライ側は内開きとし、レタン側は外開きとする。</p> <p>4 風量測定口及び温度計取付け穴の位置は監督員との協議による。</p> <p>個数は標準仕様書による。</p> <p>5 内貼を施すチャンパーは以下による。尚、表示寸法は外寸とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> メーカー標準 現場製作品 <p>6 フレキシブルダクトは、吹出口及び吸込口ボックスの接続用として、1.5m以下で使用してもよい。また、不燃材料で可とう性、耐圧強度及び耐食性を有し、有効断面を損なわないものとする。</p> <p>また空気調和設備用の場合は、断熱材付きのものとする。</p> <p>7 防煙及びピストンダンパーの復帰方法は遠隔復帰式（電気式）とする。</p> <p>8 定風量及び変風量ユニットは、以下とする。</p>
(1.14.12)	
(1.14.6)	
(2.2.5.5)	
(表3.2.6)	
(2.2.5.3)	
(1.15.8)(1.15.10)	
(1.15.13)(1.15.14)	

特記事項	
第3編 空気調和設備工事	
(1.14.3.5)	<ul style="list-style-type: none"> メカニカルタイプ 風速センサータイプ <p>9 吹出口と熱及び煙感知器との離れは、1.5m以上とする。</p> <p>10 浴室及び多湿個所に使用するフレキシブルダクトは、耐食腐食製の材質のものを使用する。</p> <p>11 厨房排気ダクトの板厚は別表4による。</p> <p>3. 配管設備工事</p> <p>(2.4.1)</p> <p>(2.3.2)</p> <p>(2.4.6)</p> <p>(2.9.2)</p> <p>1 機器接続部分の金属材料と異種金属で接続する場合は、必ず絶縁処置をすること。（標準図 施工3による）</p> <p>標準図 施工3によらない場合は、監督員と協議する。</p> <p>2 冷温水・冷却水配管の機器廻りに取付ける温度計・圧力計は保守点検が容易で見易い場所に設ける。</p> <p>（温度計はバイメタル式100φの円形指示計としても良い。）</p> <p>3 冷媒管の保護管は端部にキャップをし、異物水分等が入り込まないようにし、配管完了後は真空脱気し、管内水分を蒸発させること。</p> <p>4 ポンプサクション管は、ポンプ口径と接続管径が異なる場合は偏芯継手を使用する。</p> <p>5 冷媒管を化粧ダクトに収める場合は、配管固定サドル等にて1m以下の間隔で支持を取ること。</p> <p>6 冷媒を除く配管の耐圧試験圧力値及び保持時間は、標準仕様書による。試験結果はチャート表、又は写真（圧力値及び保持時間がわかるもの）を監督員に提出する。</p> <p>7 冷媒配管の気密試験は窒素ガスにて行う。（24時間放置）</p> <p>試験圧力は製造者の設計圧力以上とする。</p> <p>8 配管の支持金物はメーカー既製品を使用する場合は、許容荷重を確認し、監督員の承諾を得ること。</p>
第4編 自動制御設備工事	
1. 自動制御設備工事 (1.5.1)	<p>1 制御機器の型番は便宜上、メーカー参考型番とする。</p> <p>2 合成樹脂製可とう電線管はPF管とする。</p>
第5編 給排水衛生設備工事	
1. 衛生器具設備工事 (2.1.2～4)	<p>1 衛生器具の詳細は器具表による</p> <p>2 洗面器と壁及び床とのすき間のシリコンシーリングは不要とする。但し現場の状況により監督員の指示した場合を除く。</p> <p>3 便器と排水管の接続にはゴム製の継手を使用してもよい。※耐火カバーを使用する際は国土交通大臣認定工法とする。</p> <p>4 再使用する衛生器具は原則、取外し前後で洗浄及び消毒を行う。</p> <p>5 衛生器具を再利用する場合は、付属金物は新品とする。（取付金物）</p> <p>2. 給水設備工事</p> <p>1 機器類及び配管設備工事に関する事項は、第3編空気調和設備工事の項による。</p> <p>2 下記については、別途とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 局納付金（水道局審査・検査手数料） 水道利用加入金 （ ） <p>3 呼び径100A以上の鋼管の接合部分については、以下とする。</p> <p>呼び径100A</p> <ul style="list-style-type: none"> ネジ接合 フランジ接合 溶接接合 ハウジング形管継手 <p>呼び径125A以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ネジ接合 フランジ接合 溶接接合 ハウジング形管継手 <p>4 管の地中埋設深さ（土被り）は、敷地内（ ・ 300 ・ 600 ）以上とする。</p> <p>5 飲料用水槽は有資格者による槽内清掃を行い、次亜塩素酸ソーダ溶液等による消毒を行なった後、作業報告書を提出すること。</p> <p>6 原則として飲料水用配管は管内洗浄を十分に行なった後、水道法による「水質基準に関する省令（一般事項）」に基づく水質検査を保健所又は監督員の承諾を得た試験所に依頼し、水質検査成績表を提出する。</p> <p>7 直結給水部分の防食は、局指定とする。</p> <p>8 飲料用水槽で、パネルタイプに使用するボルト及びナットは、以下とする。</p> <p>(1) 水槽外部は、ステンレス鋼製（SUS304）とする。</p> <p>(2) 水槽内部の気層部分は、防護材付きとする。</p> <p>9 水槽の外梯子は、ステンレス鋼製（SUS304）みがき仕様とする。</p> <p>10 給水装置に使用する電磁弁は通電開とし、バイパス弁は主管と同一口径とする。</p> <p>11 飲料水以外の給水管は、誤接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後系統ごとに着色水を用いた通水試験を行う。</p>
(1.1.1)	※改修標準仕様書
第6編 ガス設備工事	
1. ガス設備 (1.1.1)	<p>1 都市ガス設備は、「ガス事業法」、同法施行令、同法施行規則、「ガス工作物の技術上の基準を定める省令」、同告示及びガス事業者の規定するガス供給規定による。</p> <p>2 液化石油ガス設備は「高圧ガス保安法」、同法施行令、同法液化石油ガス保安規則及び同規則関係基準、同法容器保安規則及び同規則関係基準、並びに「液化石油ガスの保安の確保及び取りの適正化に関する法律」、同法施行令、同法施行規則及び同規則関係基準による。</p> <p>3 プロパンガスは別途とする。（但し、試験用ガスは本工事）</p> <p>4 下記の表示板を付けること。（1枚看板でも可）</p> <p>(1) 火気厳禁</p> <p>(2) 立入禁止</p> <p>(3) LPガス容器置場</p> <p>(4) 連絡先</p> <p>5 500kg以上を貯蔵する供給設備は液石法（高圧ガス保安法、液化石油ガスの保安の確保及び取り引きの適正化に関する法律）に定めるところにより神奈川県知事に届け出ること。300kg以上を貯蔵する供給設備は消防法に定めるところにより消防署長に届け出ること。</p> <p>6 ガス漏れ対策</p> <p>(1) ガス漏れ警報設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 集中監視システム（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品） 戸外ブザー（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品） 個別警報器（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品） <p>(2) ガス漏れ遮断装置</p> <ul style="list-style-type: none"> マイコンメーター（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品） 緊急遮断弁（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品）
(3.1.3.6)	
(3.1.3.5)	

特記事項	
第5編 給排水衛生設備工事	
3. 給湯設備工事	<p>1 湯沸器、ガスコンロ等の据付は市火災予防条例等に定めるところにより安全堅固に据え付ける。</p> <p>2 給湯管をブロック壁内に埋込む場合は、被覆鋼管等を使用してもよい。</p> <p>3 貯湯式湯沸器のオーバーフロー兼用排水管はクロームメッキ管又は、被覆鋼管等にて流しに導くこと。</p> <p>屋外排水管は、放流樹から最上流樹までを、一定勾配で布設し、管の接合方法は管頂接合とする。但し、監督員の指示により、平坦地で勾配がとれない場合は管底接合に、地表勾配が急な場合は段差接合にすることができる。（下水道管理者と事前打ち合わせを行うこと。）</p> <p>1 屋内消火栓箱には、原則として、操作用表示シール付とする。</p> <p>2 消防法による消火器の設置のうち、下記の示すものはその工事種目にて設置するものとする。</p> <p>(1) プロパンボンベ集合装置廻りの消火器</p> <p>(2) 電気設備の消火に適応するものとされる消火器</p> <p>(3) 危険物関係施設に関するものの消火器</p> <p>(4) 火を使用する設備などに関するものの消火器</p> <p>(5) その他必要とされる消火器</p> <p>機器類及び、配管設備工事に関する事項は、第5編.2.給水設備工事の項による。</p> <p>機器類及び、配管設備工事に関する事項は、第5編.2.給水設備工事の項による。</p>
4. 排水設備工事	
5. 消火設備工事	
6. 循環ろ過設備工事	
7. 散水設備工事	
第6編 ガス設備工事	
1. ガス設備 (1.1.1)	<p>1 都市ガス設備は、「ガス事業法」、同法施行令、同法施行規則、「ガス工作物の技術上の基準を定める省令」、同告示及びガス事業者の規定するガス供給規定による。</p> <p>2 液化石油ガス設備は「高圧ガス保安法」、同法施行令、同法液化石油ガス保安規則及び同規則関係基準、同法容器保安規則及び同規則関係基準、並びに「液化石油ガスの保安の確保及び取りの適正化に関する法律」、同法施行令、同法施行規則及び同規則関係基準による。</p> <p>3 プロパンガスは別途とする。（但し、試験用ガスは本工事）</p> <p>4 下記の表示板を付けること。（1枚看板でも可）</p> <p>(1) 火気厳禁</p> <p>(2) 立入禁止</p> <p>(3) LPガス容器置場</p> <p>(4) 連絡先</p> <p>5 500kg以上を貯蔵する供給設備は液石法（高圧ガス保安法、液化石油ガスの保安の確保及び取り引きの適正化に関する法律）に定めるところにより神奈川県知事に届け出ること。300kg以上を貯蔵する供給設備は消防法に定めるところにより消防署長に届け出ること。</p> <p>6 ガス漏れ対策</p> <p>(1) ガス漏れ警報設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 集中監視システム（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品） 戸外ブザー（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品） 個別警報器（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品） <p>(2) ガス漏れ遮断装置</p> <ul style="list-style-type: none"> マイコンメーター（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品） 緊急遮断弁（ ・ 本工事 ・ 別途工事又は支給品）
(3.1.3.6)	
(3.1.3.5)	

摘要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	特記仕様書（2）		M特-02
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	縮尺	A1:N.S. A3:N.S.		

別表 1 保温防露仕様（仕様書選択基準）
一般配管類

区分	保温・防露箇所	保温材	厚さ	仕様					
(表2.3.5)	給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	グラスウール (JIS A 9504)	15～80A	20mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)合成樹脂カバー-2	
		機械室、書庫、倉庫		100～150A	25mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)原紙	(4)アルミガラスクロス
		天井内、PS内、空隙壁内		200～300A	40mm	(1)アルミガラスクロス 化粧保温筒	(2)アルミガラスクロス 粘着テープ		
		床下暗渠内（ピット内を含む）				(1)保温筒	(2)粘着テープ	(3)ホリエレンフィルム	(4)着色アルミガラスクロス
排水管※4	屋内露出（一般居室、廊下） （ ・保温あり ○保温なし）	グラスウール (JIS A 9504)	15～80A 100～150A 200～300A	20mm 25mm 40mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)合成樹脂カバー-2		
					機械室、書庫、倉庫 （ ・保温あり ○保温なし）	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)原紙	(4)アルミガラスクロス
					天井内、PS内、空隙壁内 （ ・保温あり ○保温なし）	(1)アルミガラスクロス 化粧保温筒	(2)アルミガラスクロス 粘着テープ		
					浴室、厨房多湿箇所（露出） （厨房天井内除く） （ ・保温あり ・保温なし）	ホリエレンフォーム (JIS A 9511)	15～80A 100～300A	20mm 25mm	(1)保温筒
給湯管	屋内露出（一般居室、廊下）	グラスウール (JIS A 9504)	15～80A 100～150A 200～300A	20mm 25mm 40mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)合成樹脂カバー-2		
					機械室、書庫、倉庫	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)原紙	(4)アルミガラスクロス
					天井内、PS内、空隙壁内	(1)アルミガラスクロス 化粧保温筒	(2)アルミガラスクロス 粘着テープ		
					床下暗渠内（ピット内を含む）	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)着色アルミガラスクロス
(表2.3.2)	温水管	グラスウール (JIS A 9504)	15～80A 100～150A 200～300A	20mm 25mm 40mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)着色アルミガラスクロス	
					屋内露出（一般居室、廊下）	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)合成樹脂カバー-2	
					機械室、書庫、倉庫	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)アルミガラスクロス
					天井内、PS内、空隙壁内	(1)アルミガラスクロス 化粧保温筒	(2)アルミガラスクロス 粘着テープ		
蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	ロックウール (JIS A 9504)	15～25A 32～50A 65～300A	20mm 30mm 40mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)着色アルミガラスクロス	
					機械室、書庫、倉庫	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)原紙	(4)アルミガラスクロス
					天井内、PS内、空隙壁内	(1)アルミガラスクロス 化粧保温筒	(2)アルミガラスクロス 粘着テープ		
					床下暗渠内（ピット内を含む）	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)着色アルミガラスクロス
冷水管	屋内露出（一般居室、廊下）	グラスウール (JIS A 9504)	15～25A 32～200A 250～300A	30mm 40mm 50mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)合成樹脂カバー-2	
					機械室、書庫、倉庫	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)原紙
					天井内、PS内、空隙壁内	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)アルミガラスクロス
					床下暗渠内（ピット内を含む）	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)着色アルミガラスクロス
(3.1.5.1)	消火管※2	グラスウール (JIS A 9504)	15～80A 100～300A	20mm 25mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)合成樹脂カバー-2		
					屋内露出（ ・保温あり ・保温なし）	(1)保温筒	(2)粘着テープ	(3)ホリエレンフィルム	※1
					機械室、書庫、倉庫 （ ・保温あり ・保温なし）	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)原紙	(4)アルミガラスクロス
					屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房多湿箇所（露出）（厨房天井内除く）	ホリエレンフォーム (JIS A 9511)	15～80A 100～300A	20mm 25mm	(1)保温筒

※1 外装材は（ ・ステンレス鋼板0.2mm以上 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板）とする 注：溶融アルミニウム-亜鉛鉄板は保温外径250mm以下の場合板厚を0.27mm、その他は0.35mmとする。

※2 泡消火設備の感知管の保温、防露仕様は別表1の消火管に準ずる。

※3 給水用ポリエチレン管については、PS内とピット内は保温無しとする。

※4 建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管については、保温無しとする。

一般管材類（表2.3.6）

区分	保温・防露箇所	保温材	厚さ	仕様				
タンク※5	冷水タンク 温水タンク	ロックウール (JIS A 9504)	50mm	(1)紙	(2)保温板	(3)ホリエレンフィルム	(4)鉄線	(5)塗装亜鉛系めっき鋼板
	温水タンク 温水タンク 熱交換器	ロックウール (JIS A 9504)	50mm	(1)紙	(2)保温板	(3)鉄線	(4)塗装亜鉛系めっき鋼板	
	膨張タンク	ロックウール (JIS A 9504)	25mm	(1)紙	(2)保温板	(3)鉄線	(4)塗装亜鉛系めっき鋼板	
ヘッダー※5	冷水ヘッダー 冷水ヘッダー	ロックウール (JIS A 9504)	50mm	(1)紙	(2)保温板	(3)ホリエレンフィルム	(4)鉄線	(5)塗装亜鉛系めっき鋼板
	温水ヘッダー 蒸気ヘッダー	ロックウール (JIS A 9504)	50mm	(1)紙	(2)保温板	(3)鉄線	(4)塗装亜鉛系めっき鋼板	

※5 外部設置の場合は、塗装亜鉛系めっき鋼板を（ ・ステンレス鋼板 0.3mm以上 ・溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 0.35mm以上）とする。

○施工図作成に合わせて躯体貫通部は鉄筋探査を行うこと。

○鉄筋探査後の躯体貫通部の位置については、原則として作業前に監督員に確認すること。

○トイレ床貫通部の鉄筋探査は、エアモルタル打設前に正しい壁に位置出ししておくこと。

○トイレ床のアスファルト防水にアスベスト含有（ ・有 ・無）

○外壁にアスベスト含有（ ○有 ・無）【E棟外壁】

○エキスパンションジョイント部を貫通する配管のフレキシブルジョイントは、地震時の建物間振動相違による配管の破断を防止するものであり、地震発生時に施設管理者が目視点検できるよう

点検口を設置する（別途工事）とともに、変形や漏水の確認を確実に行うために、原則としてフレキシブルジョイントに保温材は取り付けない。また、フレキシブルジョイントに挟まれた部分

の支持は、原則としてスプリングハンガーまたは同等の機能を有する部材を使用する。

一般ダクト類（表2.3.2）

区分	保温・防露箇所	保温材	厚さ	仕様			
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	グラスウール (JIS A 9504)	50mm	(1)紙	(2)保温板	(3)塗装亜鉛系めっき鋼板	
			25mm	(1)紙	(2)アルミガラス 化粧保温板	(3)アルミガラス 粘着テープ	
			25mm	(1)紙	(2)アルミガラス 化粧保温板	(3)アルミガラス 粘着テープ	
			50mm	(1)紙	(2)保温板	(3)ホリエレンフィルム	(4)鉄線
スパイラルダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	グラスウール (JIS A 9504)	50mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)塗装亜鉛系めっき鋼板	
			25mm	(1)アルミガラス 化粧保温筒	(2)アルミガラス 粘着テープ		
			25mm	(1)アルミガラス 化粧保温筒	(2)アルミガラス 粘着テープ		
			50mm	(1)保温筒	(2)鉄線	(3)ホリエレンフィルム	(4)鉄線
排煙長方形ダクト	屋内隠蔽	ロックウール (JIS A 9504)	25mm	(1)紙	(2)アルミガラス 化粧保温板	(3)アルミガラス 粘着テープ	
排煙円形ダクト	屋内隠蔽	ロックウール (JIS A 9504)	25mm	(1)アルミガラス 化粧保温筒	(2)アルミガラス 粘着テープ		
煙道	長方形 円形	ロックウール (JIS A 9504)	75mm	(1)ブランケット	(2)鉄線	(3)塗装亜鉛系めっき鋼板	
			75mm	(1)ブランケット	(2)鉄線	(3)塗装亜鉛系めっき鋼板	
消音内貼	サブライチャンパー 消音チャンパー 消音エルボ	グラスウール (JIS A 9504)	50mm	(1)紙	(2)保温板	(3)ガラスクロス	(4)銅亀甲金網又は アルミメッシュメタル
			25mm	(1)紙	(2)保温板	(3)ガラスクロス	

※6 外装材は（ ・ステンレス鋼板0.2mm以上 ・溶融アルミニウム-亜鉛鉄板）とする 注：溶融アルミニウム-亜鉛鉄板は保温外径250mm以下の場合板厚を0.27mm、その他は0.35mmとする。

- 注. (1) 給湯・温水管を除くグラスウール保温筒仕様の継手部分は、ポリスチレンフォーム成型品を使用することができる。
(2) アルミガラスクロスなどテーブ状の場合の重なり幅は15mm以上とし、その他原紙などの重なり幅は30mm以上とする。
(3) 空隙集中配管の場合は、アルミガラスクロスの外装材を取りやめる。
(4) 空調のドレン管の保温は、排水管の項による。ただし、保温付ドレンパイプを使用する場合はメーカー標準とする。
口径20mm以下の屋内及び屋外露出ドレン配管は保温化粧ケース内に納めることができる。
(5) 冷媒管は断熱材被覆鋼管とする。保温厚は液管10mm以上、ガス管20mm以上とする。（JCDA0009適合品）
保温化粧ケースの材質は 屋内（○合成樹脂製 ・アルミ合金製 ・ステンレス製 ・溶融アルミニウム製）とし、
屋外（ ・合成樹脂製 ・アルミ合金製 ・ステンレス製 ○溶融アルミニウム製）とする。
尚、屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）箇所は継目をシーリング材でシールすること。
ただし、雨水が侵入しない継ぎ目等は除く。
(6) グラスウール保温板の使用困難な箇所は、帯又は波形保温板を使用してもよい。また、ロックウール保温板の使用困難な箇所は、帯又はブランケットとする。
(7) 建築基準法に定める耐火構造の防火区画を貫通する配管の保温は、原則としてロックウール保温材で行う。
(8) 50A以下の弁類は各該当する管の区分の項に準ずる。
(9) 全熱交換器の外壁側給排気風道はグラスウール保温筒にて保温を行う。
(10) 機械室、書庫、倉庫、共同溝の保温使用で「原紙+アルミガラスクロス」「アルミガラスクロス化粧原紙」を使用してもよい。
(11) 給湯器配管カバー内の保温仕様は、天井内、PS内、空隙壁内に準ずる。
(12) 厨房及び湯沸室系統の保温仕様は図示による。
(13) PS内、機械室内の給水管の弁、フランジ等の保温は下記による。
65A以上の弁、フランジ等は、保温を行わない。
50A以下の弁、フランジ等は、保温を（ ・行う ・行わない）

別表 2 文字書き及び標示札取付け仕様（仕様書選択基準）

識別	表示箇所	表示内容		
文字書き	各機器、製缶類、水槽類 各屋内外露出配管及び風道	名称	容量（能力）	系統名
標示札	各屋内外の機器類及び配管廻り弁	種別	方向指示（矢印）	識別名
標示ラベル	DS及びPS用点検口内部配管及び風道	開閉表示	系統名	操作方法
		種別	方向指示（矢印）	

- 注. (1) 上記のほか監督員による。
(2) 各識別項目該当するものを行う。

別表 3 設計用標準水平震度

設置場所	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
最上階、屋上、塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (1.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
2階床以上	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
地階及び1階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

- 注. (1) () 内の数値は防振支持機器の場合適用する。
(2) 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。各識別項目該当するものを行う。
(3) 重要機器については、下記に○印のついた機器が該当する。
・受水槽 ・給水ポンプ ・消火ポンプ ・消火用補給水槽 ・ ()

別表 4 厨房排気ダクトの最小板厚（表3.1.14）

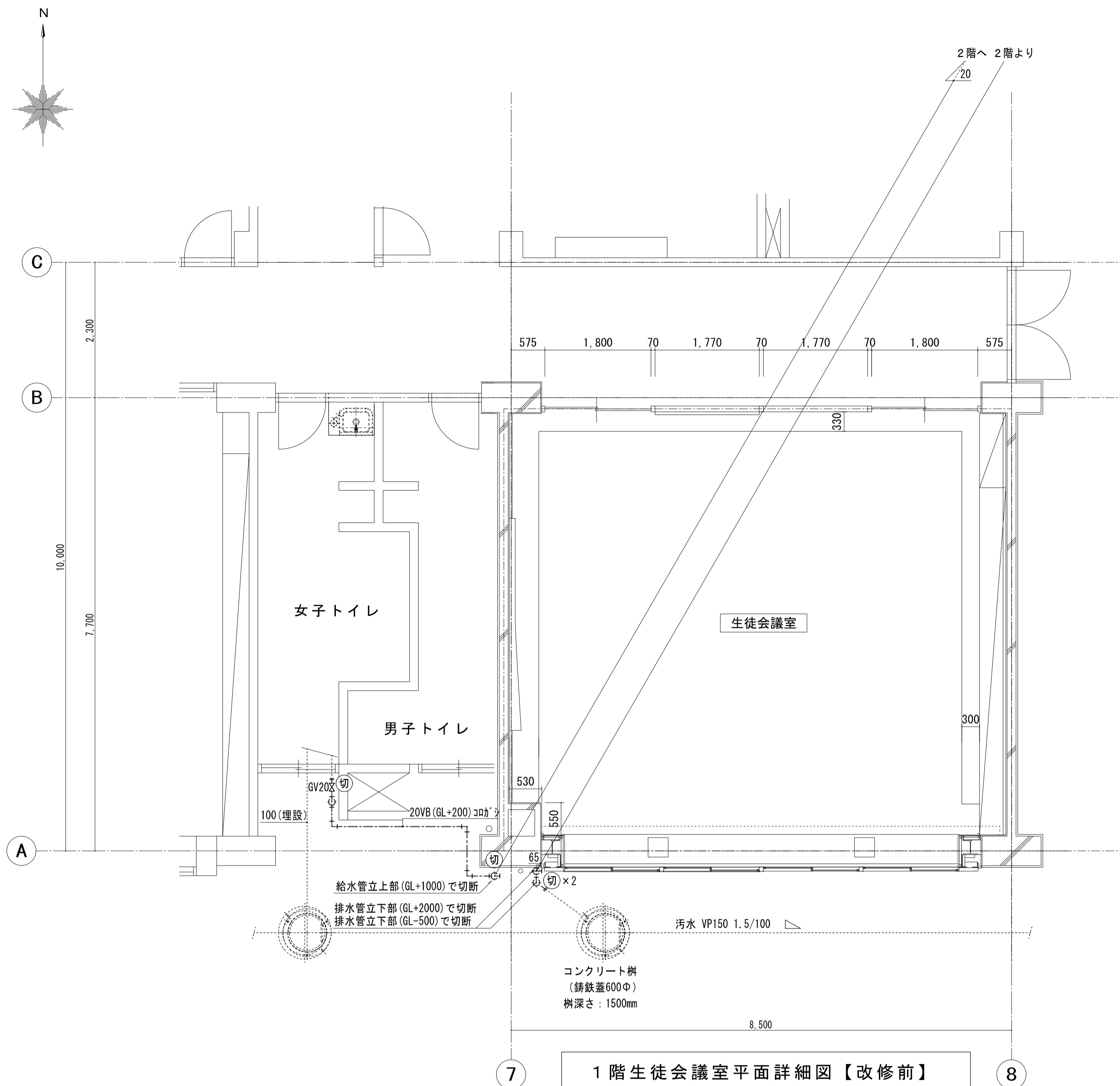
ダクトの長辺	板厚	
	亜鉛鉄板	ステンレス鋼板
450以下	0.6以上	0.5以上
450を超え1,200以下	0.8以上	0.6以上
1,200を超え1,800以下	1.0以上	0.8以上
1,800を超えるもの	1.2以上	0.8以上

防火区画・防火上主要な間仕切りの区画貫通処理

- (1) 教室～廊下間等を区画する壁（※建築基準法施行令第114条の防火上主要な間仕切壁）を貫通する配管、配線設備の施工は建築基準法施行令第129条の2の5を満たすものとする。
(2) 「防火区画を貫通するダクト及びFDから延焼ライン側のダクトは、厚さt=1.6mmとすること。または貫通部はロックウール、モルタル等で穴埋めすること。

概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	特記仕様書（3）		M特-03
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸				

改修前

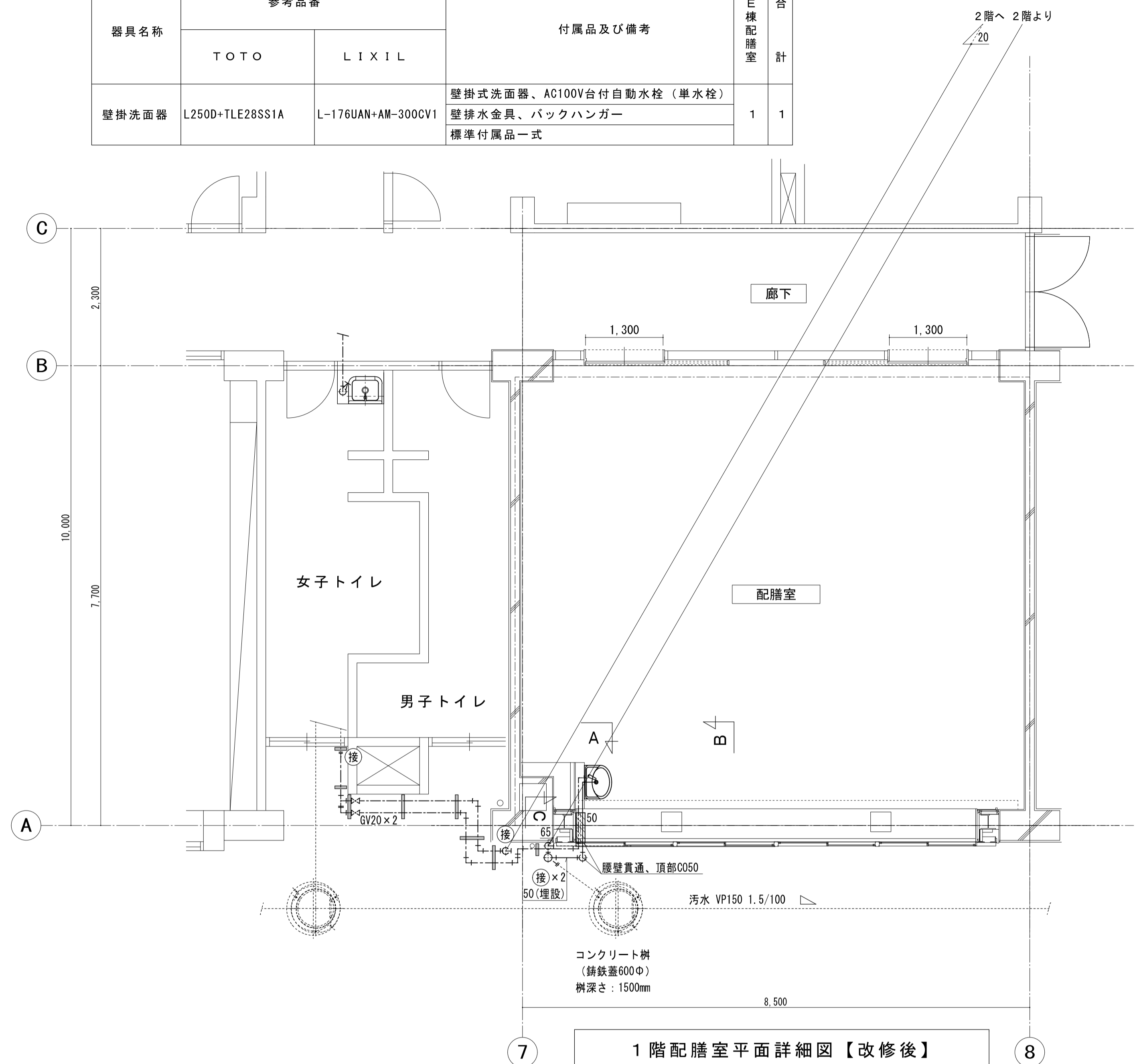


1階生徒会議室平面詳細図【改修前】

改修後

(改修後)衛生器具リスト

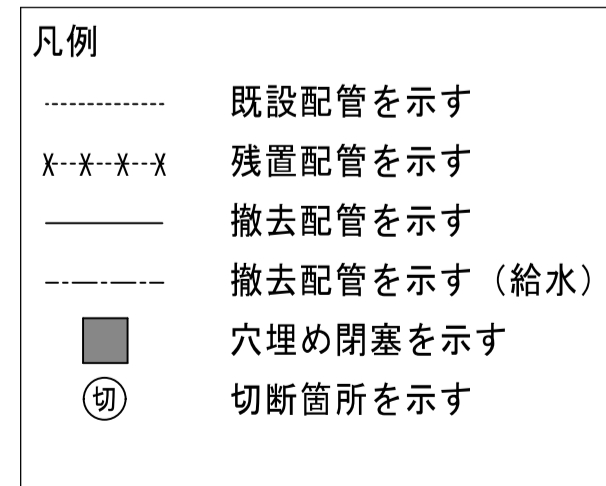
器具名称	参考品番		付属品及び備考	E棟 配膳室	合計
	TOTO	LIXIL			
壁掛式洗面器	L250D+TLE28SS1A	L-176UAN+AM-300CV1	壁掛式洗面器、AC100V台付自動水栓 (単水栓) 壁排水金具、バックハンガー 標準付属品一式	1	1



1階配膳室平面詳細図【改修後】

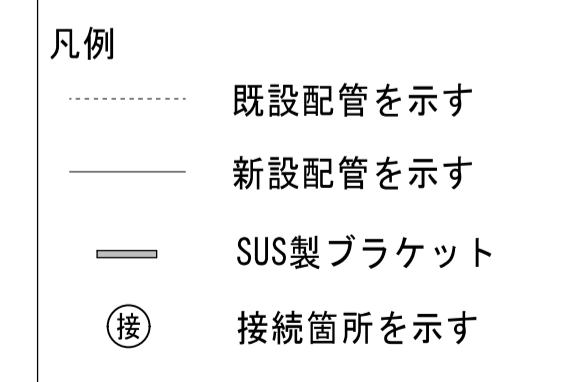
E棟 凡例 (改修前)

図示記号 (種別)	管種及び規格名称 管種名称	備考
給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)	屋外露出部
排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP・カラー)	屋外露出部
	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	上記以外

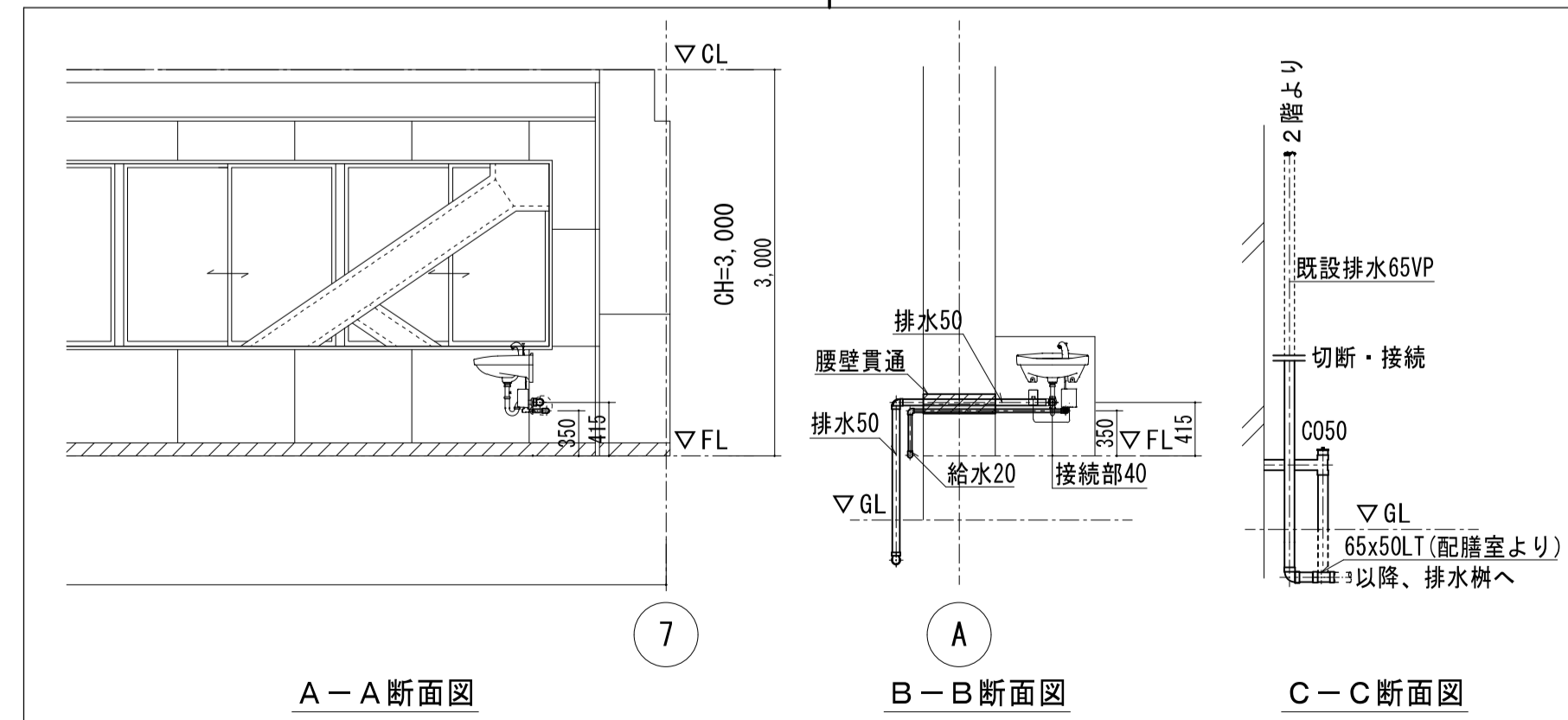


E棟 凡例 (改修後)

図示記号 (種別)	管種及び規格名称 管種名称	備考
給水管	給水用高密度ポリエチレン管 (PE100)	屋内一般・屋外露出部
排水管	建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FVP)	ライニング内
	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP・カラー)	屋外露出部
	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	上記以外



※屋外から室内への貫通部はすべて穴あけ工事



空気調和設備 機器表 (1) 【E棟/撤去・新設】												
	記号	名称	設置場所		数量	仕様	付属品	相	電圧 [V]	消費電力 [kw]	備考	
			階	室名 (系統)								
残 置	MAC-E-1	空調機 (室外機)	屋外E棟南側	普通教室系統	1	空冷ヒートポンプ式ビルマルチエアコン 冷房能力 50.0kw 暖房能力 56.0kw 配管サイズ: 液 12.7 ガス 28.6 R410A 約15.4kg 圧縮機用電動機定格出力: 10.9kw 送風機電動機出力: 0.49x2kw	防振ゴムパッド、冷媒分岐管 Jアンカー 標準付属品一式	3	200	冷5.22 暖4.83	ダイキン: RXP5000 現地表示: EHP-E1系統 ※室内機撤去に伴い、冷媒ガス回収、破壊、再充填	
	MAC-E-1-1	空調機 (室内機)	E棟 1階	生徒会講堂	1	天井吊り形 冷房能力 10.0kw 暖房能力 11.2kw 配管サイズ: 液 9.52 ガス 15.88	ワイヤードリモコン、ゴムブッシュ 標準付属品一式	1	200	冷0.237 暖0.237	ダイキン: FXYHP112MC (重量39kg)	
	MAC-E-1a-1	空調機 (室内機)	E棟 1階	配膳室	1	天井吊り形 冷房能力 11.2kw 暖房能力 12.5kw 配管サイズ: 液 9.52 ガス 15.88	ワイヤードリモコン、ゴムブッシュ 標準付属品一式	1	200	冷0.238 暖0.238	参考型番: ダイキン: FXYHP112NB ※室外機がダイキン製のため、ダイキン製の室内機とする。	

 撤去機器を示す。

※表中の新設機器の仕様はダイキン製としております。

概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21 富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号	
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	空気調和設備 【E棟】機器表 (1) 【撤去/新設】			縮尺
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸		N.S.			

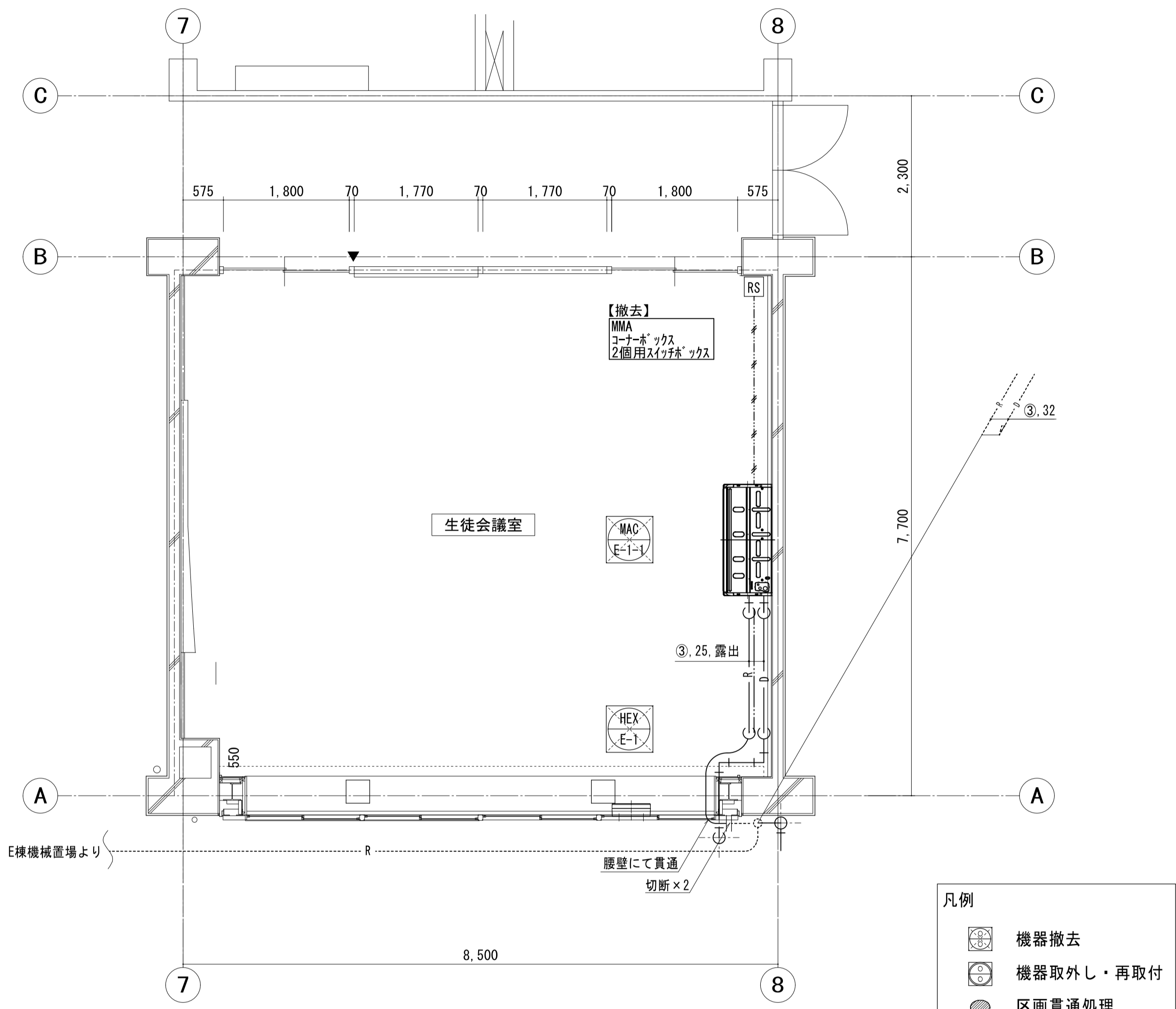
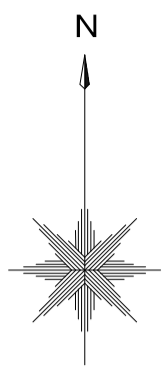
換気設備 機器表 (1) 【E棟/全熱交換器】										
	記号	名称	設置場所		数量	仕様	相	電圧 [V]	消費電力 [kw]	備考
			階	室名						
撤去	HEX-E-1	全熱交換器	E棟 1階	生徒会議室	1	型式：壁掛形 仕様：75φ x105m ³ /h SUS製パイプフード×2、標準付属品一式	1	100	0.033	三菱 VL-16EU2(質量6kg)
新設	HEX-E-1a	全熱交換器	E棟 1階	配膳室	1	型式：電気式シャッター 壁掛2パイプ取付タイプ 仕様：75φ x105m ³ /h 有効換気量：77m ³ /h SUS製パイプフード×2 24時間スイッチ（強弱無し・電気へ支給） 標準付属品一式	1	100	0.033	参考型番：三菱：VL-16EU3 Panasonic：FY-17ZHE-3 W550×D185×H265

 撤去機器を示す。

※表中の新設機器の仕様は三菱製としております。

概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21 富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号	
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	換気設備 【E棟】機器表(1) 【撤去/新設】		縮尺	N.S.
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸					

M-E02



生徒会議室 平面詳細図【改修前】 S=1/50

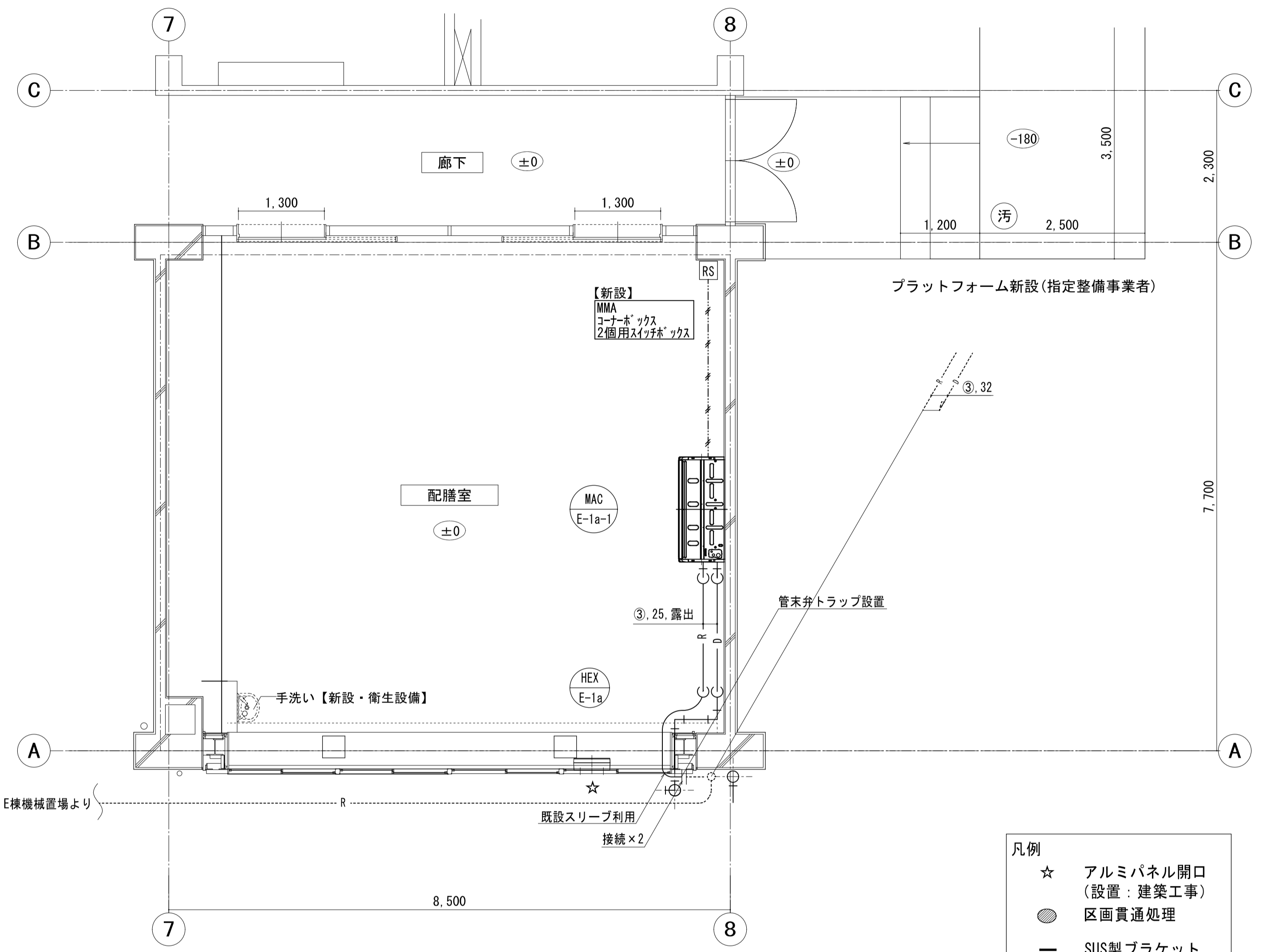
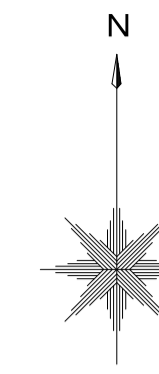
- 凡例
- 機器撤去
 - 機器取外し・再取付
 - 区画貫通処理
 - 撤去配管を示す
 - 残置配管を示す

- 冷媒配管リスト
- ① 6.4φ×9.5φ
 - ② 6.4φ×12.7φ
 - ③ 9.5φ×15.9φ
 - ④ 9.5φ×19.1φ
 - ⑤ 9.5φ×25.4φ
 - ⑥ 12.7φ×25.4φ
 - ⑦ 12.7φ×28.6φ
 - ⑧ 15.9φ×31.8φ
 - ⑨ 15.9φ×38.1φ
 - ⑩ 19.1φ×38.1φ

凡例 (自動制御設備)

リモコン配線	EM-CEE1.25mm ² -2C	天井コロガシ、MMA
屋内、外渡り配線	EM-CEE2.0mm ² -3C	冷媒管共巻
AC用リモコン		

※屋内、屋外共に合成樹脂製カバー。
 ※屋内のドレン管は結露防止層付き硬質ポリ塩化ビニル管
 ※屋外のドレン管は硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)
 ※リモコン線以外は離線し再使用とする。
 (リモコン線は撤去・新設)



配膳室 平面詳細図【改修後】 S=1/50

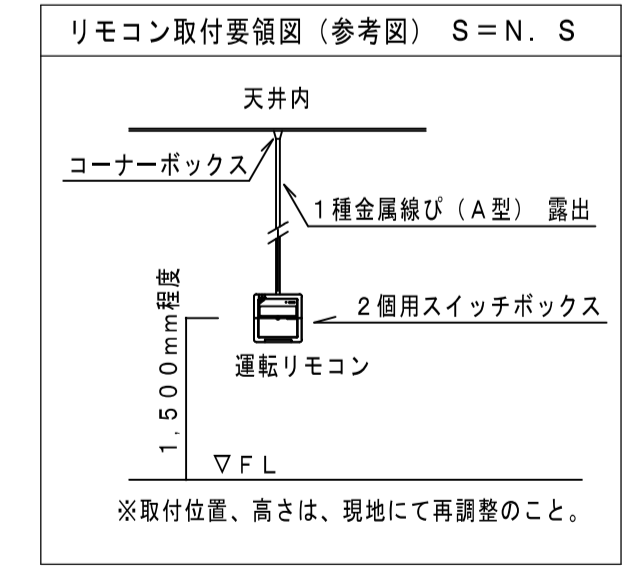
- 凡例
- ☆ アルミパネル開口 (設置：建築工事)
 - 区画貫通処理
 - SUS製ブラケット (三角、門型ブラケット共)
 - 新設配管を示す

- 冷媒配管リスト
- ① 6.4φ×9.5φ
 - ② 6.4φ×12.7φ
 - ③ 9.5φ×15.9φ
 - ④ 9.5φ×19.1φ
 - ⑤ 9.5φ×25.4φ
 - ⑥ 12.7φ×25.4φ
 - ⑦ 12.7φ×28.6φ
 - ⑧ 15.9φ×31.8φ
 - ⑨ 15.9φ×38.1φ
 - ⑩ 19.1φ×38.1φ

凡例 (自動制御設備)

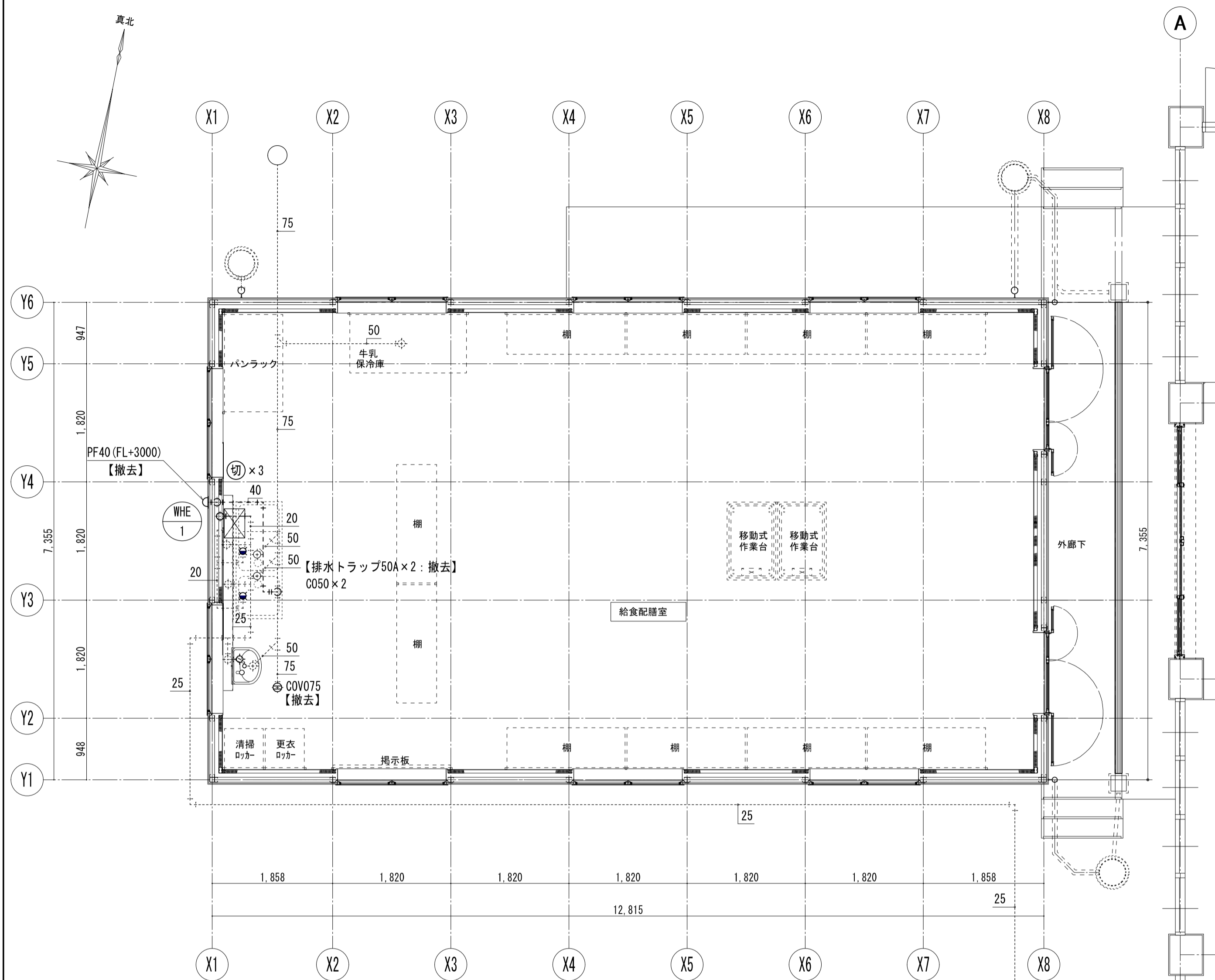
リモコン配線	EM-CEE1.25mm ² -2C	天井コロガシ、MMA
屋内、外渡り配線	EM-CEE2.0mm ² -3C	冷媒管共巻
AC用リモコン		

※特記なき配管は天井内配管とする。
 ※機器接続部から500mm程度、ドレン管をガラスウールにて保温すること。
 ※ドレン管は既設ドレン管へ接続。



概要	設計年月日 R8.03	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21 富士正第五ビル201 1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号 1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸	工事名称 市立上溝中学校給食配膳室修繕	図面名称 空調・換気設備 【E棟】1階配膳室平面詳細図 【改修前・改修後】	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 M-E03
----	----------------	-------	----	----	----	--	---	------------------------	---	---------------------------	---------------

改修前



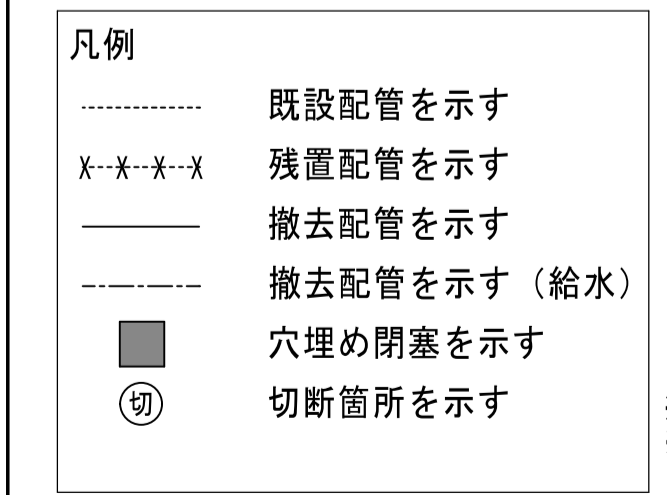
給食配膳室 平面詳細図【改修前】

衛生器具リスト(改修前)

名称	型番	仕様・付属品	給食配膳室	合計
洗面器	L250DM	AC100V自動水栓: TEN40AX、壁排水金具、水石入れ標準付属品一式	1	1

衛生機器リスト(改修前)

記号	機器名称	機器仕様	電気容量		設置場所	台数	備考
			φ	kW			
WHE-1	電気温水器	型式: 壁掛型貯湯式電気温水器 貯湯量: 65[L] 付属品: 混合水栓 x 2、オーバーフローパイプ標準付属品一式	1	2004.0	給食配膳室	1	日本イトミック: EW-65N4B-BT 混合水栓: MZ-4N3 オーバーフローパイプ: FOP-180

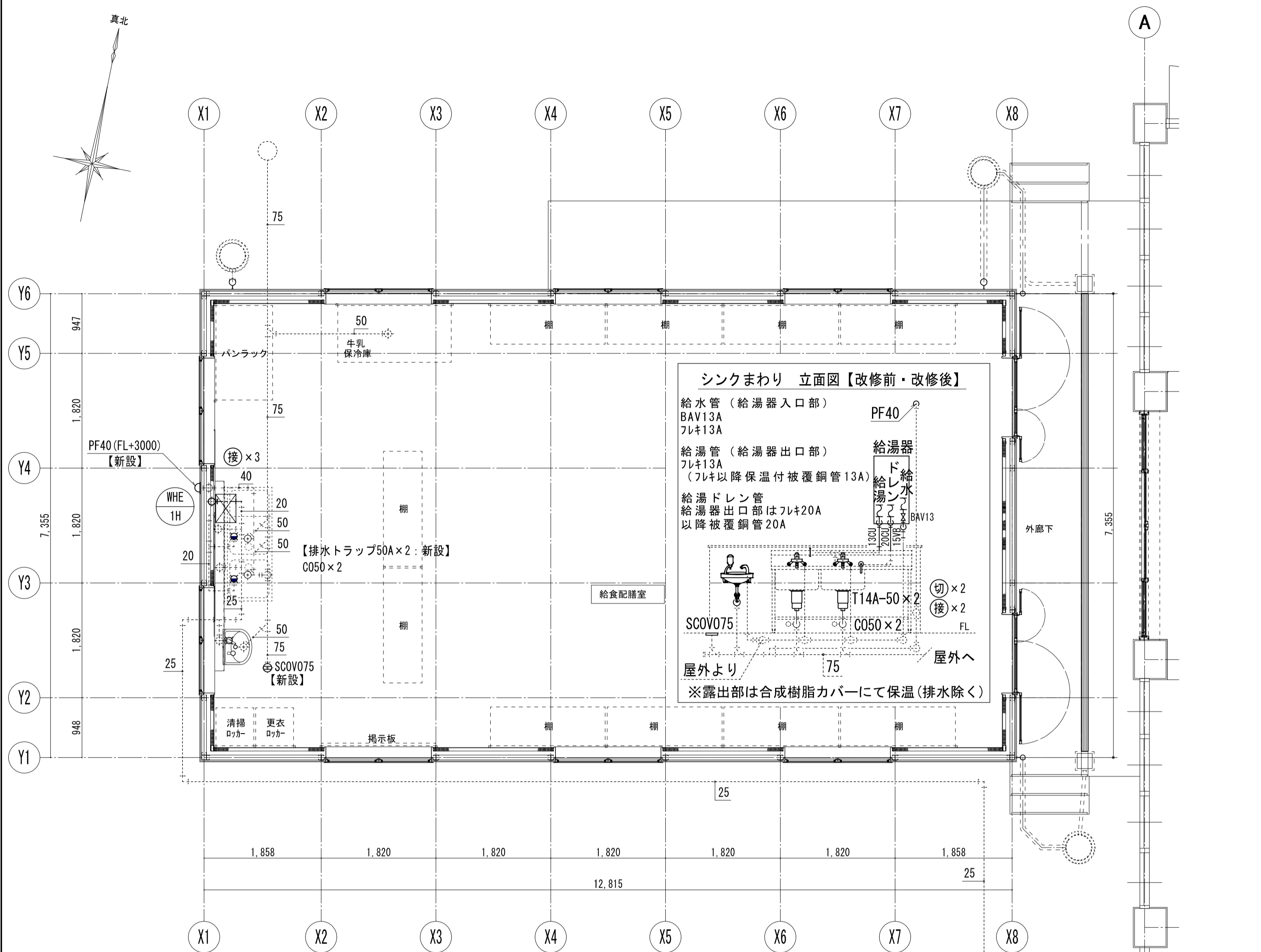


(改修前) 凡例

図示記号(種別)	管種及び規格名称	管種名称	備考
給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB)	屋内一般	
給湯管	給水・給湯用被覆銅管(CU)	屋内一般	
ドレン管	給水・給湯用被覆銅管(CU)	屋内一般	

※B棟1階廊下流し横PS内のGV25にて止水
※既設配管の撤去は電気温水器に接続している給水、給湯、ドレン管(露出配管部)、シンク下の排水管(シンクまわり立面図【改修前・改修後】参照)

改修後



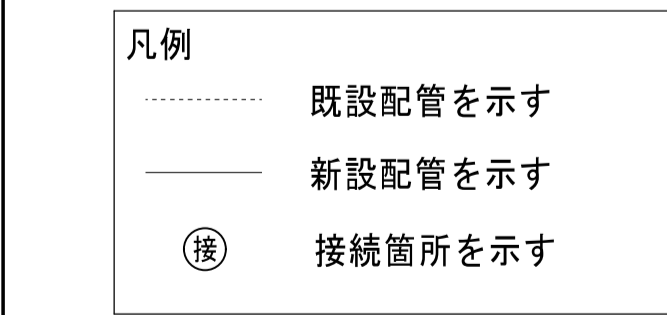
給食配膳室 平面詳細図【改修後】

衛生器具リスト(改修後)

器具名称	参考品番		付属品及び備考	給食配膳室	合計
	TOTO	LIXIL			
壁掛洗面器	L250CM+TLE28SS1A	L-176UN+AM-300CV1	壁掛式洗面器、AC100V台付自動水栓(単水栓) 水石入れ、壁排水金具、バックハンガー標準付属品一式	1	1

衛生機器リスト(改修後)

記号	機器名称	機器仕様	電気容量		設置場所	台数	備考
			φ	kW			
WHE-1H	電気温水器	型式: 壁掛型貯湯式電気温水器 貯湯量: 65[L] 付属品: 混合水栓 x 2、オーバーフローパイプ標準付属品一式	1	2004.0	給食配膳室	1	日本イトミック: EWR65BNN240CO 混合水栓: MZ-4N3 オーバーフローパイプ: FOP15A ※他社同等品無し



(改修後) 凡例

図示記号(種別)	管種及び規格名称	管種名称	備考
給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB)	屋内一般	
排水管	建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般	
給湯管	給水・給湯用被覆銅管(CU)	屋内一般	
ドレン管	給水・給湯用被覆銅管(CU)	屋内一般	

※水洗い器は水石入れ付き
※排水トラップ交換に伴い、直管部フロアマットのバックシ交換
※電気温水器と配管の取出し距離が近いので、施工性を考慮し同一管種による接続替えとする

換気設備 機器表 (1) 【給食配膳室/換気扇】										
	記号	名称	設置場所		数量	仕様	相	電圧 [V]	消費電力 [kw]	備考
			階	室名						
撤去	F-H-1	天井扇	屋外給食配膳室	給食配膳室	1	型式：低騒音形 仕様：450m ³ /h×40Pa 接続口径150φ 天吊り金具、標準付属品一式	1	100	0.054	三菱 EX-25SC3-S(質量5.9kg)
新設	F-H-1a	天井扇	屋外給食配膳室	給食配膳室	1	型式：低騒音形、インテリア格子タイプ 仕様：450m ³ /h×40Pa 接続口径150φ 天吊り金具、標準付属品一式	1	100	0.078	参考型番：三菱：VD-23ZLP13-GS Panasonic：FY-38S7 日本キャリア：DVF-T23RVDA

 撤去機器を示す。

※表中の新設機器の仕様は三菱製としております。

概要	設計年月日	変更年月日	検印	設計	製図	有限会社 北山建築設計事務所 KITAYAMA Architectural Engineering Office TEL 042-779-7691 FAX 042-779-7344	〒252-0216 相模原市中央区清新6-16-21富士正第五ビル201	工事名称	市立上溝中学校給食配膳室修繕		図面番号
	R8.03						1級建築士事務所 神奈川県知事登録第12986号	図面名称	換気設備 【給食配膳室】機器表(1)【撤去/新設】		縮尺 N.S.
							1級建築士 大臣登録第47843号 北山松幸				

M-H02

